



報 会 同 窓 高 会

No. 44

2014年(平成26年)

9月7日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会事務局／発行人：会津高校同窓会会長 新城 猪之吉
〒965-0831／☎：0242-28-0211(代)／FAX：0242-28-6680／会高ホームページアドレス／http://www.aizu-h.fks.ed.jp

自然界に学ぶ！



会津高校同窓会 会長

新城 猪之吉
(高21回)

今年の夏、いつ梅雨が終わるか分からないまま迎えた。大雨、台風と自然災害のニュースが続く。そんな中、夏を迎えた証拠の朝顔の花が、町内中に咲いている。余談ではあるが、わが町内は、(日本国中いたるところである)『町の中花いっぱい運動』を行い、その町を通ることによって、季節感を感じてもらおうという事をみんなでやっているが、わが町は町内の風物詩として、朝顔をみんなで育てようという事になった。そして、その集大成が、海の日に毎年行っている「朝顔市」！町内の各人が、大事に育てた朝顔を散策の客人たちに買って頂き、市内中にその季節感を一緒に感じてもらいたいと思っ



イヌワシ【天然記念物。及び絶滅危惧種Ⅰ類。】の剥製。体長80cm。翼開長190cm。体重2.2kg。(在・県立博物館) (記事p58～60)

冷たい夜の時間と、闇の濃さが必要と、改めて感じました。このことから、希望という大輪の花を咲かせるには、必ずしも光でも暖かい温度でもない。この冷たい夜と濃い闇があつてこそ、朝に希望の大輪の花を咲かせることが出来ます。夜は、大事な時間なのではないか？今は、まさに闇の時代かもしれません。私たちは、日々ため息をつき、闇の中に生きている。自分の行く末を模索しながら、何とも言えない時間を過ごしています。しかしこの時間にこそ、本当の意味の希望が来るのではないのでしょうか？

質で、酵母がブドウ糖からアルコールを造るためには、でんぶんをブドウ糖に変えねばなりません。その為に、麹菌の造る酵素が、その役割を果たします。この酵素が、でんぶんをブドウ糖に、そのブドウ糖を酵母がアルコールを、というプロセスです。この時大吟醸は、この酵素の量を最小限の状態にし、そして寒い環境の中で苦しみながら発酵、アルコールがこのフルーツの香りいっぱいものになります。この発酵を、別名「飢餓発酵」と呼びます。良いものを生み出すには、厳しい環境の時が必要です。我々人間にも、同じ厳しく育てられた時があるから、後に立派になるのです。どうも最近、この厳しさがなくなってきたと思えてなりません。もう一度、我々はしっかりと自然界に学ぶべき、と思つてなりません！

紙面紹介

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
会長 新城 裕之吉氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
校長 箱崎 三彦氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
平成25年度総務報告	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
平成25年度会務報告	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
平成25年度会計決算書	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
基金会計決算書・定例会(2回)報告	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
1 会報委員会会計決算書	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
2 継続名簿会計決算書	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
3 会計監査報告書	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
4 平成26年度事業計画(案)	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
5 平成26年度同窓会会計予算(案)	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
6 「ありがとう」は人生好転の秘訣 在京会長 石田桂久氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
7 「ありがた」は人生好転の秘訣 在京会長 石田桂久氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
8 「忘れられぬ伝統文化」 関西同窓会会長 菅原大幸氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
9 関西同窓会の活動状況 副会長 上野信氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
10 中部地区同窓会の活動状況 林 誠三郎氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
11 北海道同窓会会長 大田原高昭氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
12 北海道同窓会の活動状況 幹事長 間部賢司氏	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
13 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
14 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
15 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
16 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
17 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
18 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
19 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
20 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
21 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
22 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
23 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
24 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
25 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
26 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
27 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
28 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
29 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
30 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
31 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
32 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
33 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
34 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
35 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
36 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
37 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
38 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
39 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
40 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
41 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
42 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
43 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
44 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
45 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
46 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
47 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
48 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
49 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
50 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
51 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
52 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
53 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
54 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
55 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
56 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
57 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
58 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
59 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面
60 在日53回同窓会 会中53回総会	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面	面

人・事・あらかると

- ① P. 31
- ② P. 32
- ③ P. 34
- ④ P. 35
- ⑤ P. 59

題字は故平野春洋 [幸男] 氏
(中 53回)

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に特段のご支援とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。「学而の精神」の下、校是とする「好学愛校・文武不岐」を掲げて一人ひとりの進路希望の実現を目指して有意義な学校生活を展開しております。会津藩校日新館の伝統を継承してすばらしい歴史を築き上げてきた折々の方々に改めて深甚なる敬意と謝意を表します。



校長 箱崎 二三彦

いあこわい

性を理解することが現在の高校生に喫緊の課題となつていくこと、そして地域に根ざすローカル化の必要性が強く求められていることがその背景にあります。

現在の高校生は生まれたときから既にインターネットが存在する世界に生きてきました。我々が想像することすらできなかったベルリンの壁や旧ソ連の崩壊、巨大銀行の破綻、バブル崩壊などの衝撃的な出来事は当たり前のことのように受け止めています。北朝鮮と韓国が一つとなる驚愕の事態が起こる可能性すら秘めた未来をこれから遅く生き抜いていかなければなりません。

グローバル化は「時代の要請」であり、我が国も積極的に教育改革を推し進めようとしています。文部科学省は高等学校教育に関して他国の高校生と比較して改善すべき三つの弱点を指摘しています。一つは世界共通語を使うコミュニケーション能力の必要性でありブロークン英語でも構わないとしています。二つ目は自己に対する深い理解と自信、自国や地域文化に対する造詣であり、三つ目は哲学、論理力、健全な批判力に裏打ちされた思考力を上げています。会津における進学基幹校として、これらの点を踏まえた知識や学問に関する興味や関心を引き出し身につけさせたいと考えています。

また本校では五月に他界された栗林友吉氏のご寄付により県内唯一の学校単独事業としてアメリカ研修を実施してまいりました。知らない国で不自由な言葉で伝え合う難しさ、自分達の常識が通じるとは限らない体験は生徒を大きく成長させて帰国後の体験発表などを通して学校全体にすばらしい影響を与えてきました。グローバルな視点を育む大きなきっかけとなった故人のご遺志を大切にして継承していく所存です。

今年度当初に本校生に求めた姿勢は「克己心」でした。最後まで諦めない気持ち、会津人としての粘り強さ、礼儀正しさを持つて真摯に取り組むことが本校生の姿であると捉えています。変化する時代の潮流を見極めるグローバルな視点を身につけた人材へと育てて欲しいと願っています。同窓生各位のご期待に応えるべく地域が誇れる学校を目指して参りますので尚一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ならぬことはならぬものです

日新館では観覧だけでなく、坐禅体験や弓道体験なども楽しめます。その他、合宿や会社研修、大会、宿泊施設等にも提供しております。



白虎隊の学び舎

会津藩校 日新館

〒969-3441 福島県会津若松市河東町南高野字高塚山 10
TEL 0242-75-2525 FAX 0242-75-3215
URL <http://www.nisshinkan.jp/>

■箱崎二三彦先生プロフィール

昭和三十二年筑波大学卒。同年四月より高校教員。南会津・岩瀬農業・保原・福島西高校教諭。会津第二・棚倉高校教頭。県教育庁学校経営支援課管理主事。県教育庁会津教育事務所次長。いわき光洋高校長。本校第34代校長として昨春着任。

現在の主な役職

- 県高校長協会会津支部長 (県高校長協会副会長。県高教研保健体育部会長。県高体連会津地区会長 (県高体連副会長。県高体連バレーボール専門部会長。東北高体連バレーボール専門部長。県吹奏楽連盟会津支部長。他。

平成25年度総会報告

平成25年度会津高等学校同窓会総会は、平成25年9月8日(日)12時30分から会津若松市白虎町の「ワシントンホテル」で、来賓・会員・母校職員約二百六十名出席のもと、盛大に開催された。

安部井省治幹事長(高28) 進行のもと、東海林信一郎副会長(高12)の開会の言葉に続き、物故会員の冥福を祈って黙祷の後、宮澤洋一監事(高26)の指揮のもと会津中学校校歌と会津高等学校校歌を声高らかに斉唱した。

新城猪之吉会長(高21)が挨拶にたち、「今朝7年後のオリンピック東京開催が決まった。本日の記念講演会は若いアスリートの生の声を聞くことになっており何かの縁か。今NHK大河ドラマ『八重の桜』の視聴率が高く外国でも観られている。そして、会津はすごいと言ってくれるが、過去の栄光でなく今の子ども達を誇れるよう送り出していきたい。OBとして側面から支え、引っぱりあげる応援をしていきたい。それには協賛金が重要であり今年度もご協力をお願いしたい」と述べた。

来賓挨拶に移り、会津高等学校校長箱崎二三彦氏から諸活動に対する物心両面の理解協力に感謝する。今日午前に行われた本校前庭「やすらぎの碑」前での物故会員・恩師追悼慰霊式には遠方から先輩が多勢参加したこと、母校への思いに尊敬の念を、又本校の歴史伝統を改めて感じたこと。そして共学12年目で男子55%女子45%である。特別応援団に女子もがんばっているなど共学となった。昔からの伝統を引継いでいることの紹介があった。

P T A会長林健幸氏(高34)から自分の子ども達が母校で高校生活を送っていることに誇りに思う。物心両面の協力に感謝し、これまで以上に応援をお願いしたいと

の話があった。

議長に横山淳氏(高28)を選出し議事に入った。議事録署名人には桑原勇健氏(高17)佐藤哲夫氏(高25)の二名が指名された。

太田伸幹事長(高21)から平成24年度会務報告がなされ賛成多数により承認された。

平成24年度会計報告、監査報告に移り、会計幹事増井伸郎氏(高44)から一般会計を同じく渡部孝男氏(高40)から基金会計を、佐藤繁氏(高7)から会報委員会会計を、渡部文夫氏(高7)から平成18年版名簿発行委員会会計を、千葉宏氏(高8)から継続名簿会計をそれぞれ報告がなされた。酒井幸一監事(高27)よりいづれも適正に執行されている旨の報告がなされ、賛成多数により承認された。

ついで平成25年度事業計画案が太田伸幹事長から、平成25年度予算案が増井伸郎会計幹事から提案されそれぞれ承認された。

ついで役員改選になり会長以下全員の留任が決まった。

ついで増井邦良副幹事長(高14)から協賛金について、一千二百八十七名から合計二百六十一万五千円をいただいたとの報告があった。

その他、学而さくらクラブから本会へ寄附金が贈呈された。太田伸幹事長から同窓会名簿に登載希望の山口修誉氏と渡邊剛氏が幹事会において会員として承認され、それぞれ(高22)、(高37)の名簿末尾に登載されるとの報告があった。

戸川稔朗副会長(高19)の閉会の言葉で総会は終了した。

その後記念講演会に入り「君はなぜ走るか」の演題のもと、パネリスト佐藤敦之氏(高49)、猪俣英希氏(高59)、高久芳裕氏(高61)、コーディネーター新城猪之吉

会長(高21)により対談形式で行われた。スポーツマンらしく、はきはきと思いを述べる若者らしさに癒された人もいよう。DVDも写されて、よりリアルに(写真)。講演会後は恒例の懇親会が催され、例年のように旧交をあたたためあい、元気一杯のひとときを過ごした。(萬實清一郎記)



石田在京会長のご発声で「乾杯！」

平成 25 年度 会務報告 (H25 年 7 月 1 日～H26 年 6 月 30 日)

年	日 時	会 務	場 所 等	
25	7 月 22 日(月)	河東支部総会	おおた	
	23 日(火)	会計監査、役員会	母校、ハトヤ	
	25 日(木)	母校陸上競技部、端艇部全国大会出場 励金贈呈	母校	
	27 日(土)	坂下支部総会	江戸鮎	
	8 月 10 日(土)	第 2 回定例幹事会	ワシントンホテル	
	22 日(木)	第 2 回会報委員会	ホテルニューパレス	
	9 月 8 日(日)	平成 25 年度総会	ワシントンホテル	
	”	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑	
	”	同窓会報第 43 号発行		
	23 日(月)	戊辰殉難者秋季祭典	阿弥陀寺、長命寺	
	24 日(火)	白虎隊士秋季墓前祭	飯盛山	
	10 月 3 日(木)	役員会	中ノ島	
	18 日(火)	母校合唱部全国大会出場励金贈呈	母校	
	21 日(金)	市役所職員同窓会総会	中の島	
	11 月 2 日(土)	塩川支部総会	粹旬	
	9 日(土)	関西同窓会総会	大阪 中央電気倶楽部	
	17 日(土)	下郷支部総会	鈴木屋旅館	
	22 日(木)	南会津支部総会	丸山館	
	23 日(土)	猪苗代支部総会	猪苗代リゾートホテル	
	”	下郷支部総会	鯉川	
	12 月 7 日(土)	湯川支部総会	花正楽	
	26	1 月 20 日(月)	役員会	中の島
		3 月 1 日(土)	第 66 回 卒業式	母校、記念品贈呈
		25 日(火)	母校離任者送別会	いずみや
		4 月 8 日(火)	平成 26 年度 入学式	母校
20 日(日)		在京同窓会総会	上野精養軒	
23 日(水)		戊辰殉難者春季祭典	阿弥陀寺、長命寺	
24 日(木)		白虎隊士春季墓前祭	飯盛山	
25 日(金)		中田浜強歩大会応援	有志	
”		母校着任者歓迎会	中の島	
27 日(日)		高田支部総会	宮廻	
5 月 5 日(月)		第 6 回ゴルフ大会	磐梯カントリークラブ、中の島	
”		第 5 回囲碁大会、第 3 回将棋大会	中の島	
12 日(月)		大会反省会、母校へのチャリティ寄金贈呈	中の島	
24 日(土)		北海道同窓会総会	札幌第一ホテル	
30 日(金)		第 1 回定例幹事会	中の島	
6 月 18 日(水)		第 1 回 会報委員会	44 号編集委員会	
6 月 18 日(水)		役員会	中の島	

平成25年度 会津高等学校同窓会会計決算書

(1)、(2)、(3)とも平成26年8月2日出第2回幹事会で承認を受けました。

(1)一般会計 平成25年7月1日より平成26年6月30日まで

収入総額	¥4,561,251	円
支出総額	¥4,171,515	円
差引残高	¥389,736	円

収入内訳

(単位:円)

	予 算	決 算	比較増減	備 考
前年度繰越金	581,186	581,186	0	
入会金	1,425,000	1,425,000	0	5,000円×285名
協賛金	2,550,000	2,555,000	5,000	
雑収入	100	65	△35	利息
合 計	4,556,286	4,561,251	4,965	

支出内訳

(単位:円)

	予 算	決 算	比較増減	備 考
事務局費	200,000	273,541	73,541	趣意書、ラベル台紙代等
事業費	150,000	0	△150,000	
総会費	150,000	134,262	△15,738	同窓会総会補助
会報発行費	670,000	763,875	93,875	会報発行費
会合出席(地元外)	550,000	482,450	△67,550	在京・関西・北海道・中部
会合出席(地元)	150,000	129,000	△21,000	支部等総会・墓前祭
慶弔費	50,000	26,550	△23,450	花環、弔電、香典代
名簿発行準備金	200,000	200,000	0	名簿発行積立金
卒業記念	250,000	257,355	7,355	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	65,000	△35,000	役員会等
通信費	300,000	287,790	△12,210	会報発送、メール便、切手等
基金	1,425,000	1,425,000	0	入会金
手数料	100,000	93,880	△6,120	協賛金振込手数料
雑費	50,000	32,812	△17,188	広告代
予備費	211,286	0	△211,286	
合 計	4,556,286	4,171,515	△384,771	

一般会計幹事 増井 伸郎 (高44回)



(2) 基金会計

平成 25 年度会津高校同窓会基金会計報告書

平成 25 年 7 月 1 日より平成 26 年 6 月 30 日まで

収支総額 22,562,368 円

支出総額 665,000 円

差引残高 21,897,368 円

収入の部

前年度繰越金	21,034,832
同窓会入会金	1,435,000
寄付金	88,000
預金利息	4,538
合 計	22,562,368

支出の部

全国大会出場援助金	665,000
合 計	665,000

収支総額 普通預金 6,768,554 円
定期預金 15,128,814 円
計 21,897,368 円

基金会計幹事 渡部孝男 (高 40 回)



定例会 2 回ひらかれる。

何にまれ、人を集めて会議を開くのはなかなか大変である。事前に役員会を開いて開催予定の詳細をつめて当日となる。様々な苦労があるものです。

(一) 第一回定例幹事会 5月30日(金) 18:00～ ルネッサンス中の島

①第二回定例幹事会について

日時、場所、九月の総会の日時、場所

②総会講師の選定については(この会で候補者を初めて話題にするのではなく、第一回のこの回までに、ある程度固まっている人選とすべしとの意見に賛同集まる。

③ゴルフ・囲碁・将棋大会の決算報告があり承認された。

④支部報告は、田島支部と猪苗代支部から

(二) 第二回定例幹事会は8月2日(土) ワシントンホテルで開催。

①9月7日(日) 12:30 ワシントンホテルで同窓会総会を開く。

②講師・講演が平山誠一氏(高校14回生)による「近代日本を支えた山国会津の船乗りたち」と決まったこと。

③25年度会務報告・決算・監査報告・26年度計画と予算等決定。

④母校の学而ホールに接している「学而記念館」にまつわる同窓生の本や史料などを含めて考えて、通称「時習文庫」と呼び習わして行くことはどうか、との同窓会報委員長の提案があり、役員からの補強発言も加えられて承認された。生徒たちの「学而文庫」と対をなす呼称である。

⑤途中で退学して渡米して音楽修業をし世界に名をなしている鋒山亘(ほこやまわたる)君の希望があり、卒業生ではないが「同窓生」として(今後は名簿にもり)活発な交流が期待されて加入が承認された。

⑥会員券、会報、協賛金等は通常の通り承認された。



第 1 回幹事会風景



第 2 回幹事会風景

(3) 会津高校同窓会各会計決算書

※各会計の年度期間は平成25年7月1日～平成26年6月30日

1. 会報委員会会計決算書

収入総額 387,932 円
支出総額 239,405 円
差引残高 148,527 円

○収入の部 (単位:円)

前年度繰越金	102,893	
広告収入	285,000	18事業所
雑収入	39	利息
合計	387,932	

○支出の部

会議費補助	67,620	H25年8月22日、H26年6月18日開催
配送通信費	8,320	切手代、発送費
取材事務、旅費	66,411	旅費等
備品費	77,054	プレーヤー等
その他	20,000	合冊用定期積立
合計	239,405	

差引残高 148,527円は次年度会計へ繰り越します。

会報委員会会計 佐藤 繁(高42回) 

※本年度より同窓会報費は一般会計からの支出となりました。

2. 継続名簿会計決算書

収入総額 1,435,507 円
支出総額 0 円
差引残高 1,435,507 円

○収入の部 (単位:円)

平成25年度繰越金	1,235,319	
平成25年度分準備金	200,000	
利息	188	預金利息
合計	1,435,507	

○支出の部 なし

差引残高1,435,507円は次年度会計へ繰り越します。

継続名簿会計 千葉 宏(高8回) 

会計監査報告書

平成26年 7月29日(火) 10時00分より会津高校図書館において、会津高校同窓会「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「継続名簿会計」「協賛金会計」について会計担当者の説明を聴取し、関係帳簿及び証拠書類の照合を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

平成26年 7月29日(火)

監事:

宮澤 洋一 

監事:

酒井 幸一 

平成 26 年度 事業計画 (H26 年 7 月 1 日～H27 年 6 月 30 日)

年	日 時	会 務	場 所 等
26	7月 3日(木)	南会津支部総会	丸山館
	5日(土)	中部同窓会総会	刈谷市 (株)豊田自動織機シャインズ
	19日(土)	坂下支部総会	江戸鮎
	22日(火)	河東支部総会	おおた
	24日(木)	母校端艇部、なぎなた部全国大会出場部 活動激励金贈呈	母校
	7月 29日(火)	会計監査	母校
	8月 2日(土)	第2回定例幹事会	ワシントンホテル
	8月 20日(水)	第2回会報委員会	ホテルニューパレス
	9月 7日(日)	平成26年度総会	ワシントンホテル
	”	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑
	”	同窓会報第44号発行	
	9月下旬	会報発送(協賛者)	母校(学而ホール)
	23日(火)	戊辰殉難者秋季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(月)	白虎隊士秋季墓前祭	飯盛山
	11月初旬	関西同窓会総会	大阪
27	1月初旬	役員会	
	3月 1日(日)	第67回卒業式	母校、記念品贈呈
	3月下旬	母校離任者送別会	いずみや
	”	役員会	
	4月 8日(水)	平成27年度入学式	母校
	4月下旬	在京同窓会総会	上野精養軒
	23日(木)	戊辰殉難者春季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(金)	白虎隊士春季墓前祭	飯盛山
	4月下旬	中田浜強歩大会応援	有志
	”	母校着任者歓迎会	
	5月 5日(火)	第7回ゴルフ大会	磐梯カントリークラブ、中の島
	”	第6回囲碁大会、第4回将棋大会	中の島
	5下旬	第1回定例幹事会	
	下旬	北海道同窓会総会	札幌第一ホテル
	6月中旬	中部地区同窓会総会	名古屋
	中旬	会報委員会	45号編集委員会
	7月上旬	会計監査、役員会	母校
	8月上旬	第2回定例幹事会	ワシントンホテル
	下旬	会報委員会	45号編集委員会
	9月 13日(日)	平成27年度総会	ワシントンホテル
	”	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑
	”	同窓会報第45号発行・発送	

平成26年度 会津高等学校同窓会会計予算(案)

(1) 一般会計

平成26年7月1日より平成27年6月30日まで

収入

(単位:円)

	26年度予算	25年度決算	比較増減	備考
前年度繰越金	389,736	581,186	△ 191,450	
入会金	1,375,000	1,425,000	△ 50,000	5,000円×275名
協賛金	2,550,000	2,555,000	△ 5,000	
雑収入	264	65	199	利息等
合計	4,315,000	4,561,251	△ 246,251	

支出

(単位:円)

	26年度予算	25年度決算	比較増減	備考
事務局費	200,000	273,541	△ 73,541	封筒印刷費等
事業費	100,000	0	100,000	母校図書援助等
総会費	150,000	134,262	15,738	同窓会総会補助等
会報発行費	670,000	763,875	△ 93,875	会報発行費
会合出席(地元外)	500,000	482,450	17,550	在京・関西など
会合出席(地元)	150,000	129,000	21,000	支部総会、墓前祭
慶弔費	50,000	26,550	23,450	弔電、香典等
名簿発行準備金	200,000	200,000	0	名簿発行積立金
卒業記念	250,000	257,355	△ 7,355	卒業記念品、卒業証書筒代
会議費	100,000	65,000	35,000	役員会、幹事会等
通信費	250,000	287,790	△ 37,790	はがき、切手代等
基金	1,375,000	1,425,000	△ 50,000	入会金
手数料	100,000	93,880	6,120	協賛金振込手数料
雑費	50,000	32,812	17,188	広告代等
予備費	170,000	0	170,000	
次年度繰越金	0	389,736	△ 389,736	
合計	4,315,000	4,561,251	△ 246,251	

※科目間の経費の流用は会長一任

一般会計幹事 増井 伸郎(高44回)



「ありがとう」は人生好転の秘訣

在京会津高校同窓会長 石田桂久（高10回）



東京都府中市にある故川島廣守前会長の墓石に会長ご自身の筆になる「謝恩」の二字が刻まれているが、生前も感謝の心で謙虚に生きる事の大切さを折につけ説いて

おられたことを懐かしく想い出す。訓えにそつて、生かされている事への感謝の念で毎日を生きる事は、心の姿勢として健全なことであり、日々実践している。さらに確かなものにするためにこの心情を声に出すことが有効なのではなからうか。一日出来るだけ多く「ありがとう」がございます」と言葉を発声する事が豊かな人生につながると信じている。

「ツキを呼ぶ魔法のことば」というテーマで全国的にご講演されている広島県の工学博士五日市剛氏によれば、その言葉として「①ありがとう」「②感謝します」「③ツイてる」の三つをあげておられる。そして①ありがとうは勿論いつ言っても良いのだが、厭なこと・悲しい事が起こった時に発声するのがコツだそうである。交通事故が故に遭遇した時は不注意な運転をしないよう気づかせてくれてありがとうであり、病気になる時は普段の生活のゆがみを気づかせてくれてありがとうである。我が母校の校歌にも「難きを忍び、易に就かず、試練は神の恵みぞと、正しく強く朗らかに、生きなん道を辿りゆく、若き世代の誇りこそ。」とあるように、直面した苦難、困難を災難と受け止めるか神が与えてくれた試練「ありがたい」と受け止めるかでその後の人生が大きく変わってくるのではなからうか。蛇足だがこれは若き世代の誇り

りだけでなく年配者にも確実に通じるものと確信する。

感謝の念の「ありがとう」だけでなく人間は言葉に出すとそれが実現するようになってきている。新潟県で成長しているある会社では、社員が車を運転する時エンジンをかける前にハンドルの中央に貼つてあるシールの文言を口に出して読むようになってから社員の交通事故が激減したと聞いている。その文言とは「私は車に感謝し自分の命、人さまの命に対して安全運転を誓います。車の整理整頓を心掛けます。」というもので、私も自分の車のハンドルに貼り毎日声に出している。おかげさまで安全運転四十年表彰を受賞している。

言葉というが、言葉には霊が宿っているのであり、人生の好転を願うのであれば積極的にプラス言葉を口に出し、極力マイナス言葉は避けるべきである。プラス言葉とは「ありがとう」「頑張る」「できる」「まだ若い」「やってみよう」「面白い」等（これらを明元素言葉という）明るく、元気で、素直）でありマイナス言葉とは「忙しい」「疲れた」「できない」「もう年だ」「やりたくない」等（これらを暗病反言葉という）暗く、病的、反抗的）である。充実した人生を望むなら徹底して明元素言葉を声にだし、暗病反言葉を発しないよう意識的に訓練すべきである。言葉は単なる伝達の手段ではなく自分の心を動かす大きな力が宿っており自分そのものと言つてもいいのではなからうか。

人生好転の為には勿論発声するだけではなく心に強く思いを込める事が前提であり、明確な目標を定め自分こうなりたいと強い願望を持つことが必要と考える。「強烈な願望は必ず実現する」と言われる。それに向かつて努力を傾注する人生でありたい。

さて、当面の願望として在京会高同窓会も同窓生の親睦と母校発展に寄与できる価値ある同窓会を目指している。在京会高同窓会は新たな歴史を創るべく、事務局の移転等もあり、会の運営についても催事の見直し規程類の整備等若い世代の加入促進を視野に入れ、会の活性化に向けて鋭意取り組んでいるところである。地元同窓会の皆様をはじめ全国の同窓生の皆様のご支援ご協力をに感謝すると共に、会津高等学校同窓会並びに母校会津高等学校の限らない発展を心からお祈りして会の運営に当たりたい。

本① 時習文庫の



医療法人健心会 **えんどうクリニック** 院長 遠藤 剛

胃腸科 外科 肛門科 入院施設完備 人間ドック有

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
2:00~6:00	●	●	△	●	●	●

5:00まで

健康相談・健康診断
インターネットで探す私の「かかりつけ医」!!

私のお医者さん
<http://www.endo-go-cl.jp>
健康に役立つ情報いっぱい!

会津若松市一箕町亀賀藤原417-3 (旧富士通ハイパス、三井生命となり) ☎0242-33-0700

在京同窓会の活動状況 平成26年度同窓会総会

幹事長 小野 彰 (高19回)



「母校への愛着や思い出
分ち合える場に！」

4月20日(日)、桜が散り、樹々が春風に香る、不忍池畔の「上野精養軒」で開催されました。今年も、去年を40名も上回る200名余の出席があり、大変盛況でありました。特に59歳以下(高26回以上)の働き盛り年代と学生会員の出席者の伸びが特徴的でした。

第I部の総会では、物故者への黙祷、中学・高校の校歌斉唱した後、石田桂久会長(高10回)挨拶、箱崎二三彦母校校長挨拶に続き、議事に入り、大越康弘副会長(高13回)を議長に選出、平成25年度会務報告と会計報告・監査報告、会則改正が行われ、次いで昨年辞任された本名正二幹事長(高16回)の後任に、小野彰副幹事長(高19回)を、急逝された越尾修副幹事長(高23回)の後任に鈴木謙常任幹事(高28回)を、補充に菅家敏之(高22回)を、副幹事長に選出。続いて提案された、平成26年度事業計画並びに予算案(別掲参照)共々、満場の拍手を持って承認されました。

第II部の会員スピーチは、「近代日本海運を支えた山国・会津の船乗りたち」と題して平山誠一氏(高14回)が講演。三菱商船学校(現東京海洋大学)の一期生に旧会津藩士が在籍してた事、藩に高級船員が多かったのは、戊辰後、海運業を興して藩を立てるといった戦略的な狙いがあったからではないか、大いに興味を持たれたとの事。現代においても、強い海洋国家を、郷里の若者に目指せと話されたのが印象的でした。

第III部の懇親会は、来賓紹介、田辺賢行会津若松副市長(高20回)の祝辞後、新城猪之吉地元同窓会会長(高21回)のご発声で乾杯。同期同士はもちろん、先輩・後輩を囲んでの、いつもながらの歓談が会場一杯に広がりました。宴もたけなわの折、新社会人一人と現役大学生28人が檀上に上がり、胸を張った自己紹介は、澆刺とした雰囲気をもたらした。その後、合唱部だったメンバーが綺麗なハーモニーを披露、会場が大いに盛り上がる中、学面会歌を元応援団長鈴木忠正(高15回)、凱旋歌を元応援団長小平達也(高66回)のリードで斉唱の後は、あちこちで「また来年」と、再会を約し散会となりました。

来年も同じく「上野精養軒」で、平成27年4月19日(日)11時から開催予定です。

同じ会高の「DNA」をもち、普段は知り合いになれない人との縦の繋がりを大事にされてる方に、お気軽に是非出席して頂きたい。

◎平成26年度各種催事
上期開催は、6月7日～8日(日)、第11回会津歴史探訪の旅は、「会津に告げよ武士の死」とし、上越・長岡・魚沼を巡りました。6月15日(日)、第44回川島杯ゴルフ大会は、美里C・Cで行われました。

7月9日(木)、文化講演会は、グランドヒル市ヶ谷にて、95名(会員外含む)の参加のもと、柳澤秀夫・NHK解説主幹(高24回卒)により『戦場記者が見てきた世界』の演題で講演されました。

7月21日(祝)、第2回囲碁

大会は、新宿・囲碁所で開催されました。

今後の下期開催として10月19日(日)、第22回を迎える芋煮会を、東京サマーランドで多くの会津女子高OGとご家族も参加し、大変盛り上がり開催されます。

来々年1月17日(土)には、新春麻雀大会を新宿「葵」で開催します。年代の違う会員が一堂に会し、大いに楽しめると思います。参加希望者は、在京会員に限らずどなたでも大歓迎ですので、是非参加してみたいかがですか。(別掲平成26年度行事予定表参照)

在京会津高校同窓会 平成26年度 行事予定表 (案)

20日(日)	在京同窓会総会 11:00～	於 上野精養軒
6月7日(出)～8日(日)	第11回会津歴史探訪の旅 「会津に告げよ武士の死を」	新潟県(上越・長岡・魚沼)
6月15日(日)	第44回川島杯ゴルフ大会	於 美里ゴルフクラブ
下 旬 在京同窓会報第50号発行		
7月9日(木)	文化講演会 18:00～	於 グランドヒル市ヶ谷 NHK解説委員長 柳澤秀夫氏(高24回卒)
7月21日(祝日)	第2回囲碁大会 10:00～	於 新宿・碁会所
8月7日(木)	役員会 18:00～	於 グランドヒル市ヶ谷
9月7日(日)	地元同窓会総会	於 会津若松ワシントンH
10月19日(日)	芋煮会 11:00～	於 東京サマーランド
11月9日(日)	歩こう会	横須賀方面探訪
下 旬 在京同窓会報第51号発行		
<平成27年>		
1月17日(土)	新春麻雀大会	於 新宿「葵」
3月1日(日)	会津高校卒業式	於 会津高校
3月5日(木)	役員会 18:00～	於 グランドヒル市ヶ谷
4月19日(日)	在京同窓会総会 11:00～	於 上野精養軒

事務局が市ヶ谷に移転

新しい事務局は、新宿区市谷田町1-1

ATビル8F 共生棟内に移転しました。

電話は03-5261-0102、

FAXは、03-6411-5460。

Eメールは、aizuko-doso@aizu.or.jp です。

「忘れられがちな伝統文化」

関西同窓会会長 菅家 大幸（高14回）



昨年11月の第21回総会で会長を仰せつかりました。関西同窓会が20年の歴史を積み重ねてこれましたのは、母校並びに本部同窓会及び各地同窓会の皆様のご支援ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。郷土を同じくする者は多くの思い出を共有しております。

〈忘れられがちな海洋民族としての日本〉

さて、昨年は大河ドラマ「八重の桜」のお蔭もあり、幕末・維新時における「会津」の立場を全国の方々に理解して頂けたことは会津人として喜ばしい限りです。この関西でも、「会津の立場が良く分かった」「幕末の会津は立派だった」等多くの声を耳にしました。そうした中、今年の4月、在京同窓会総会に出席させて頂きました。恒例の会員スピーチは小生と同期の平山誠一君でした。上野寛永寺の鐘の音が聞こえる中で始まった話の内容は、明治初期に山国育ちの会津人が船乗りとなり、世界に活躍の場を広めて近代国家・日本を支えたというものでした。かねてより小生は我国を「島国」と称して「島国根性」なる言葉の元を生み出し、更に「稲作農耕民族」と定義して、我が国の伝統精神を内向きの文化として説明しようとする考え方に異を唱えて来た一人です。その要点は、周囲を海に囲まれ、常に海（外洋）に目を向けて来た「海洋民族」としての側面を忘れ、無視しているのではないかとこの点にあります。江戸初期までは我国も多くの人間が海外雄飛した大航海時代でしたが、鎖国政策がこれを変えました。東日本大震災で被災した東北の漁師の方が発した言葉、「我々漁師は狩猟民族だ。こんな津波に負けている訳にはいかない」という言葉はまさしくこの点を衝いたものです。今回の平山君の話は、単に会津人の気質の先見性や気概を示すものと言うだけでなく、我が国の忘れられがちな精神文化の一面を見事

に示してくれた点において大変優れたスピーチであったと思います。因みに、文化人類学者の梅棹忠夫氏が『文明の生態史観』の中で云う、ユーラシア大陸の東西に位置する西欧と日本を共に「第一地域」として共通する歴史の型があるとの指摘は、これに繋がる大変興味深いものがあると思えます。

我が国を「島国」及び「稲作農耕民族」として穏やかな内向きの民族とする考え方にもそれなりの理由が在ることも事実ですが、この考え方でいささか捨て置けないと思うことは、我が国の民族性、精神文化や考え方を小さな器の中に押し留めようとする発想に繋がりがかねないという点にあります。今日、或いは今後の国際社会の中で我が国の立つべき位置を考える時、この発想は決して無視できないことであり、又、事実在即していません。考えるわけです。

〈内向き伝統文化の長（光）と短（影）〉

こうした、余り外に目を向けようとしないう内向き志向の文化は、社会の様々な面で長短両面の顔を見せています。ある時は賞賛され、ある時は混乱と失笑を。東日本大震災時に見せた秩序正しい行動等は前者。最近の政治家（国会、地方を問わず）が見せた発言とその後の対応等は後者と言えるでしょう。こうした国民一般の礼儀正しさとリーダー層の無責任さがなぜ同じ社会で同居できるか。その根にあるのが列島内でお互いの思い遣りを大事にする内向き文化と云えまいか。

まことに小さな我が国は、明治維新により、一方で近代国家（資本主義、民主主義、議会主義など）への道へ舵を切りながら、一方では、その近代国家を支える考え方や精神文化面の切り替えは充分には出来ていない。と云うより意識的に避け、無理に我国の内向き精神に合うように都合よく修正してきた面があると思えます。例えば、本来、ある目的を有する「機能的」であるはずの様々な社会の組織集団を「（運命）共同体組織」、つまり仲間意識の通用する組織にし、組織の維持自体を自己目的化する傾向を育み、その結果、物事を原理原則に照らして考え・判断するというのではなく、その場の雰囲気・空気によって判断するという文化などはその典型ではない

だろうか。戦前、「国の政治目的を達成するのが目的であるはずの軍隊が共同体組織になってしまひ、組織存続すなわち戦争をすること自体が自己目的化してしまつた」喝破したのは我が会津高校の先輩・小室直樹博士（高3回卒。2010年9月に他界）であったが、この「軍隊」の代わりにある種の「政治家」や「官僚」に置き換えれば、この傾向は今も生き続けていると思われるが何故だろうか。確かに組織体はその維持の為に時として違法な行為に手を染めることはある。だから近代国家は、監視機関の設置など様々な牽制機能を準備するが、わが国ではその監視機関でさえが、監視対象組織との馴れ合い（仲間意識）が横行し、チェック機能を十分に発揮し得ていない事は多くの事例が示す通りです。

〈小室直樹先輩が伝えたかったこと〉

こうしたことが起きる真の理由もまたこの内向き文化にあることを早くから見抜き、これを乗り越えなければ日本の将来が危ういことになるとして警鐘を鳴らしてきたのが小室先輩でありました。小室先輩は、国内及び米留学・研究で身につけた「小室百学」とも評される数学、統計学、物理学、経済学、心理学、人類学、政治学、法社会学等の理論を動員し、近代国家の成立要件である民主主義とは何か、議会主義とは何か、資本主義の精神とは何か、憲法とは何か、三権分立とは何か、裁判とは何かなど様々な角度からその原理原則を体系的に説いてこられた優れた学者であると同時に警世家でもありました。我国の良き伝統文化を風化させない為にも伝統文化の長短両面をしかと自覚し、稲作農耕民族の思い遣る心と、海洋民族の外に向かつて挑戦する精神とが車の両輪の如く一体になれば、そこに我国の新たな姿が見えて来るであらうし、小室先輩の懸念を払拭する糸口も見出せるものと思えます。その切り口を示した所に平山君の講演の意味があります。

（小室先輩の業績については、また別の機会に整理できればと思います。）（了）

菅家大幸氏プロフィール

・富山大学経済学部卒（1966年3月）・住友金属工業株（現新日鉄住金株）入社（1966年4月）・機イトーキョーへ移籍（2000年6月）・同社 退社（2008年6月）

関西同窓会の活動状況

副会長 上野 信 (高14回)

「1」総会

第21回総会は、いつもと会場を変えて中央区大手前の「プリムローズ大阪」で、平成25年11月9日に開催されました。出席者は34名で、来賓10名、会員18名、学生会員6名でした。千葉宏先生(高8)のお勧めで、特に今年には西会津高校に転勤された山口光彦先生(高30)、会津若松の林恵太郎さん(高58)、信州大の林玄三郎さん(高65)ご兄弟にご参加頂き、また学生会員も多く参加頂きました。

今回は総会と懇親会の会場を別の部屋で開催しました。はじめに〈高砂の間〉で記念講演と総会を行いました。まず管家副会長(高14)の開会の挨拶があり、会の司会は松本保雄幹事(高15)が担当しました。

記念講演は、遠藤さん(高11)のご紹介の後、河原田滋さん(高7)が「光と電子について」の題で、大学と会社で培われた経験を発評されました。

引き続き総会に移り、六角正義会長(高13)の挨拶、上野幹事長(高14)から会務報告、加藤賢一會計(高22)から会計報告と桑原勇臣監査(高14)から監査報告があり、承認されました。更に加藤會計からは25年度収支予算の説明、上野幹事長から会則の一部改正と役員改選の提案があり、承認されました。次に、管家大幸新会長から会長挨拶がありました。

来賓祝辞では、本部同窓会長の新城猪之吉(高21)から本部の活動状況、会津高校の箱崎二三彦校長からは進学状況やクラブの状況をご紹介頂きました。

最後に、「中学校校歌」と「高校校歌」を元氣一杯に合唱して総会が無事終了しました。

懇親会

懇親会は場所を変え、〈羽衣の間〉で、桑原新副会長の開会の挨拶、鈴木精一さん(高51)の乾杯の音頭で始

まりました。

暫く歓談の後、学生会員の佐藤真輔君(高57)、五十嵐快君(高65)、寺田佳乃子さん(高65)、中野伶華さん(高65)、石井彩乃さん(高65)、林玄三郎君がそれぞれ自己紹介をしました。

続いて千葉先生から川島廣守氏の「魂の感動」の本の紹介があり、即売されました。次に山口光彦先生のお話に移りました。先生は今回特別に参加されたそうです。中部地区同窓会の林誠三郎幹事長(高19)から同窓会の活動状況の紹介があり、続いて会津女子養高校関西支部長の新田弘美会長からは「学科賞」の受賞者への贈物が贈呈されました。

最後に学而会歌、凱旋歌を、更に会女の校歌を斉唱し、上野副会長の閉会の挨拶で終了しました。恒例の二次会では、御来賓、同窓会員、大学生が会津の話題の続きに花を咲かせました。

・文記載以外に総会・懇親会にご参加頂いた方(会女) 大澤静江様、新國映子様、田中紀子様
・同(会津高) 松本忠三郎(高4) 鴻巣理様(高5)、宗川武治様(高11)、中村真人様(高17)、針生仁様(高19)、井上千代志様(高20)、戸田修次様(高20)、高畑由紀夫様(高24)、鈴木俊哉様(高56)

「2」散策会

関西同窓会の特色の一つに散策会があります。関西は観る場所も豊富で、松本忠三郎相談役の企画で年3回あちこち廻っています。

- 第1回 3月21日、鳥羽伏見の戦いの跡。
- 第2回 7月10日、泉屋博古館から銀閣寺周辺。
- 第3回 10月26日、西本願寺が、台風の為中止。

「3」その他の活動

- ① 在京同窓会(4月)に管家会長出席。
- ② 中部支部同窓会(6月)に管家会長出席。
- ③ 定例懇親会を大阪の居酒屋で2、4、7、9、10月に開催。毎回10名程度参加。
- ④ 会女同窓会(10月)に六角会長、管家副会長、松本

「4」新任役員(敬称略)

常任幹事が参加。	新任役員(敬称略)
会長	管家 大幸(高14)
副会長	桑原 勇臣(高14)
同	上野 信(高14)
幹事長	佐々木 繁(高20)
事務局長	井上千代治(高20)
會計	加藤 賢一(高22)
會計監査	澤田 博(高18)
同	小西 雅彦(高25)

学校図書館の表札「学而文庫」



平成26年度中部地区同窓会総会 — 会津女子高校との合同開催 —

幹事長 林誠三郎 (高19回)

平成26年度の中部地区同窓会総会は平成6年度から恒例となっておりですが、会津女子高校同窓会との合同総会として平成26年7月5日(土) 16:30より開催されました。今回は、久しぶりに名古屋から離れて、刈谷市の



豊田自動織機のOBのご尽力で同社『シャインズ』を確保しての懐石御膳。総勢20名が集いました。

司会進行役も双方で仲良く分担、今年は会高鈴木幸喜さん(高21回)、と会女岩淵さち子さん(高18回)が務めました。さて、総会に先立ち、恒例となった講演会を実施しました。今年は会高側が当番なので、津島市で開業医をされている佐藤信恭さん(高7回)による、会員の皆さんにとつて現在重要な関心事であるテーマ「健康診断について。がん検診、メタボ健診を含む」について話して頂きました。最近の沢山の学会発表論文をわかりやすく解説されて、最後は、なりすましガンには気をつけてと見解を述べられた。講演後には闊達な質問などもあり、皆さんにとつて非常に有意義な30分でした。総会は、小林副会長(高15回)の開会宣言。初めに、昨年6月に亡くなられた、元会女会長を務められた森島典子さんを偲んで全員で黙祷を行いました。大内会長(高13回)、会女の萱野路子会長(高18回)の挨拶に続き、林幹事長から会務・会計報告があり、ここで、今年度も昨年度と同様に、10月に家族芋煮会の開催と次年度の第5回文集の発行が予定されている旨報告されました。つぎに、大東祥順監査役(高5回)・佐藤信恭監査役(高7回)から監査報告が行われました。これらは、満場一致の拍手を持って承認され、総会は滞りなく終了しました。ここで恒例になりました集合記念写真の撮影。

次に来賓の会津高校校長代理の千葉宏先生(高8回)から、会津高校の在校生の活動状況、本部同窓会の話や会津若松に観光客や修学旅行生が戻ってきた様子など、懐かしいふるさとの様子が紹介されました。管家大幸関西会高同窓会会長(高14回)から関西同窓会の近況などを話していただいて、関西地区の活動内容に一同感嘆いたしました。

今回の出席者最高齢の大東祥順氏(高5回)の乾杯の御発声で親睦会に移りました。酒は会津から取り寄せた地酒で一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を偲んで懐かしむことしきり。そして両



校の校歌斉唱や会津を思い出している「ふるさと」、小池元会長のハーモニカ、今回はカラオケも飛び出して懐かしいデュエットと楽しい時はあつという間に過ぎてゆきました。懇親会会場には、昨年に開催した大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。

中締めは、星金次幹事

(高19回)の万歳三唱で無事に総会と懇親会を終えることができました。

- 中部支部役員(敬称略)
- | | | | |
|-----|------------|-----|------------|
| 会長 | 大内哲男(高13回) | 幹事 | 鈴木幸喜(高21回) |
| 幹事長 | 林誠三郎(高19回) | 幹事 | 鈴木幸喜(高21回) |
| 顧問 | 谷玄信(高5回) | 顧問 | 安西廣恭(高10回) |
| 副会長 | 小林秀明(高15回) | 顧問 | 小池秀夫(高13回) |
| 幹事 | 大島暁爾(高18回) | 顧問 | 馬場宏衛(高17回) |
| 顧問 | 山田俊作(高5回) | 監査役 | 大東祥順(高5回) |
| 幹事 | 星金次(高19回) | 監査役 | 佐藤信恭(高7回) |

3・11以降の福島県と会津の役割

會中・会高北海道同窓会会長 大田原 高昭 (高10回)



表題は、今年の北海道同窓会における講演会のテーマである。北海道同窓会では毎年講師を招いて講演会を開催しているが、今年はこの表題で、福島大学の小山良太教授にお願いした。小山教授は、3・11と福島原発事故からの復興への福島大学の取り組みの中心となつて活躍している人として知られており、もともと北海道大学の私の教室の卒業生なので、多忙な中を無理して札幌まで来ていただいた。

なお小山教授の前任者が守友裕一宇都宮大学教授で、この人も私の最初のゼミ生である。守友教授は今年宇都宮大学を定年退職されると同時に、特任教授として福島大学に呼び戻され、復興の事業に取り組むことになった。福大在任中の実績を買われてのことである。私は教え子二人が復興の第一線で活躍していることで、自分も間接的にそこに参加しているような気持ちになり、有難いことだと思っている。

当日の講演の内容を小山教授の話と私の感想をこちゃまぜにして述べてみたい。福島県の中でも被害が比較的軽度であった会津地方は、浜通りの被災地住民の避難場所となるなどの役割を果たしている。主な産業である農業では、隣接他県と比較しても放射性物質による汚染レベルは同等または低いレベルにあり、ほとんどの農産物で放射性物質が検出されていない。しかし、「福島県産」というくくりの中では「風評被害」を避けられなかった。

ここで一つの分岐点がある、量販店などの流通界から

は、会津の農産物はほしいが福島ブランドでは売れないので、福島産とは区別した「会津ブランド」で出してもらえないかという提案がされた。魅力的な提案であったが、会津の農協や農業者は「そんな卑怯なことができないか」と断然これを断つたというのである。

福島ブランドの農産物は、検査体制を厳格にして安全なものだけ流通させる体制を整えつつあり、そのためには会津の産品が主力にならなければならなかったから、この決断は県内他産地から「さすが会津」と称賛された。こうして福島産品は徐々に消費者の信頼を取り戻しつつあり、**会津はその主力を担うことで農産物の福島ブランドを守ったのである。**

会津以外の地域の農産物も検査してみると安全なものが多い。しかし、地域が全体として汚染地域とされているために流通に乗せられないものがある。それは現在実施されている汚染状況の検査のサンプル数が少なく、広い範囲を一括して汚染地域とし、大規模な除染工事が行われているからだ。小山教授はいう。現状では非汚染地域も汚染地域とされ、貴重な表土がはがされ、産物が売れないということになる。

小山教授たちは、そのため農地一筆ごとに検査を行つて精密な汚染マップを作成し、それをもとにして生産農地と除染農地を峻別し、生産農地を増やすと共に、汚染農地についても汚染の種類及び程度にしたがって有効な対策をとることが可能だとしている。行政はなぜかいまだにこの提言を採用していないが、農業者はその方向に動き出している。

たとえばJA新ふくしまでは一筆ごとのマップ作製が進められ、すでに水田の4割、樹園地の7割をカバーしている。大変な作業だが、農協職員、農家のほかに福島県生協連の職員、組合員も参加しているのが特徴である。生協からの応援には、ボランティアを通じて消費者もま

た安全性の確認と対策の確立に参加しようという意思が求められている。

このように研究者とタイアップした一連の積極的な農業サイドの動きには、JAあいづ組合長であり、福島県農協連合会長であった庄條徳一氏の見識とリーダーシップが大きな力となっている。庄條氏は会津農林高校出身であり、同じ郷土会津を代表しての氏の働きは、私たちの誇りとしてよい。

小山教授の講演は、遠く北海道にいる私たちにとつても強い印象を残すものであり、「福島の状態について初めて納得のいく説明が聞けた」などの感想が語られていた。これからも福島、会津の真実を学んで私たちに出来ることは何かを考えていきたい。

あたたかい心とたしかな医療 新病院「総合医療センター」

現在、第Ⅲ期工事（外構工事）を行っております。
診療体制には変更がございません。



地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院
一般財団法人 竹田健康財団 **竹田総合病院**

会津若松市山鹿町3番27号 ☎(0242)27-5511(代) http://www.takeda.or.jp



北海道同窓会の活動状況

幹事長 間部賢司（高13回）



第6回同窓会は5月24日（土）札幌第一ホテルにて41名が出席して開催されました。

総会に先立ち、震災の傷今だ癒えぬ故郷の早期復興を願う黙祷を捧げ、伊藤忠孝氏（一六回）の開会宣言、太田原高昭会長（十回）の挨拶に続き議事審議に入り、25年度会務報告、会計報告及び星宙監査（十三回）の監査報告が承認され、26年度事業計画、予算も原案通り承認されました。続いて和知修二氏（二七回）が幹事に承認され議事審議は終了しました。来賓として同窓会から戸川稔朗副会長、安部井省治副幹事長、学校から千葉宏先生が紹介され戸川副会長から同窓会や会津の近況報告をお聞きし、伊藤監事が閉めた。

講演会から例年通り会女高同窓生をまじえ、講師には太田原会長の推薦を得て、小山良太福島大学教授を迎え『3・11以降の福島県と会津の役割』と題して、資料を基に内容の濃いそして日頃我々には知りえない内容を解り易く説明して戴き、我々も何か出来る事が有るのではないかと考えさせられる講演でした。短い時間しか取れなく申し訳なかった。

後刻戸川副会長から会津若松市議会では小山先生の講義を5回も受けたとお聞ききし納得した程内容の濃い講演でした。

合同写真撮影後、和知修二氏、高谷規子さん（二八回）の司会、高橋孝一氏（二二回）の懇親会開会宣言に続き、会女代表黒川登志子さん（二三回）はこの会に参加出来る慶びと御礼の挨拶がある。千葉先生から会津高校の現状報告、安部井副幹事長の挨拶につづき、最長老の森川實氏（中四九回）の高らかな乾杯発声で宴会入り、各テーブルで話が弾む中、初参加の酒井和彦氏（七回）橋爪啓氏（三四回）川俣秀樹氏（五七回）、東京から星善徳氏（二五回）、会津から山口光彦氏（三〇回）塩谷寿枝さん（三〇回）が紹介されそれぞれ一言挨拶を戴いた。今回

は戸川副会長が持参された、プロジェクトマップピングDVD2本を映写しながら、話は弾み賑やか中、恒例の後藤敏子さん（十回）のマジックショーで更に盛り上がる（毎年新しいネタと衣装にも感心）。和知氏・高谷さん司会本当にご苦労さんでした。所定の時間も大分過ぎた頃、伊藤氏・高谷さんのリードで校歌と応援歌（中学・女学校・高校）を高らかに歌い上げ、会女卒の佐久間みりさん（四三回）の開会宣言と再会を約束して懇親会は終了しました。2次会は出席者が多くなり3次会まで盛況でした。

今年の催事は8月ビール会、9月6日第1回「歴史探訪」の旅、10月4日芋煮会を開催。

「歴史探訪」は「会津と北海道」の歴史的な関係を紐解き訪ねる目的で、会津と北海道の間わりは、大きくは江戸末期に北方警備として1807年宗谷地区と樺太に1558名、1859年に道東の標津・斜里・網走・紋別地区に派遣された歴史と、幕末の五稜郭戦争、そして明治に入って東京に謹慎中の旧藩士200戸700人の北海道移住に始まる、斗南藩等からの屯田兵と会津各地からの開拓民が各地に移住して来た歴史、2期に分けられる。

今回は余市地区を訪問するので、余市地区との関係を調べてみた。

余市町	北海道余市郡余市町
現在	人口 20352人
	戸数 10238戸

明治4年に隊長宗川熊四郎以下193戸入植翌年33戸入植し余市川の上流川東地区を黒川村と川西地区を山田村と名付け、開拓は困難を極めたが、明治8年リンゴの苗木500本が無償配布されて植え付けし、その中で明治12年に赤羽源八氏の「緋衣」と金子安蔵氏の「国光」が結実し、以後余市町は北海道の大産地にな



りました。緋衣は幻の品種になりつつありましたが、幸いなことに猪苗代出身の吉田清亥氏の吉田農園で大切に守り続けられた老木があったことで、篤志家の並々ならぬご努力で、平成12年吉田農園から苗木の寄付を受け会津の地に植樹し、現在は緋衣ブランド化実行委員会が生産・加工・販売を分担して行っているとの事でした。

もう一つ「あゆ」は明治期に養殖されたことにより最北生息地で、現在も食べられますヨ。

また 余市入植後直ちに「日進館」(日新館)を建て学問を推奨した事に依り開拓使庁等の官吏や教育関係に転出されて活躍された方がおられた。

小 樽藩士大竹元一

「向井流泳法」の伝授をし現在も継承されている。

白虎隊藩士住吉貞之進

● 教育関係者として活躍。歌手ペギー葉山は孫。他に函館戦争に参戦した大竹作右衛門夫妻、藩士松田清介などの墓がある。

岩内町 藩士高橋常四郎翁碑

● 岩内町、学校に奉職築瀬真精の書院風隠居邸

● 開拓使岩内郡長、家老築瀬三佐衛門の分家。

北海道各地に歴史があるので、載せきれませんが興味のある方はご連絡下さい。

私たちは食文化の向上に貢献します!!

株式会社 二丸屋山口商店

代表取締役社長 山口豪志(高11回卒)

■本社 / 会津若松市インター西50番地
 ☎0242-22-0148(代)
 FAX.0242-25-0933
 URL : <http://www.208.co.jp>
 e-mail : yamaguchi-g@208.co.jp

■郡山営業所 / 郡山市亀田1丁目51番18号
 ☎024-934-3151
 FAX.024-934-3152

酒造見学 無料

未廣酒造「嘉永蔵」

・会津物産品売店
 ・売店・無料試飲コーナー

■営業時間 9:00 ~ 17:00 ■見学無料 ■年中無休 (12/31・1/1のみ休み)

併設

仕込み水で煎れた珈琲が自慢です。 世界の名機を展示

蔵喫茶 **kyou** **クラシックカメラ博物館**

■営業時間 10:00 ~ 18:00 ■営業時間 9:00 ~ 17:00
 ■水曜定休 ■年中無休

会津若松市日新町 12-38 Tel.0242-27-0002
 URL: <http://www.sake-suehiro.jp/>

クラブ会、 支部の便り

在京五三会の 同級会

会中五三会は中学五二回生と五三回生とで組織して、毎月例会を開催して親睦を図っております。

平成二十五年十一月二十日、東京銀座の三笠会館で在京五三会が同級会を開催、二十三名の会員が集まりました。在京会員のほか、神戸から鈴木孝壽君、会津から飯田耕治君、桑間恒雄君、そして小生赤城良一が出席しました。

さらに会員のほかに、ゲストとして四名のご婦人方が出席され、紅一点ならぬ紅四点で会を盛り上げていただきました。

福田のぶ子さん（前列左から三人目）は、在京五三会会員の故福田哲也君の奥様で、会津会副会長としておられます。



渡部彰子さん（同・四人目）は、渡部敬三会長（同・五人目）の奥様です。

渡邊澄子さん（同・六人目）は、在京五三会誕生の基礎を作った功労者・故渡邊達也君の奥様です。

伊東典子さん（同・七人目）は、故伊東正義元外務大臣の姪で、会津会副幹事長として活躍です。

福田さん、伊東さんのお二人は会津女子高等学校の

OGで、会津高等学校のOGと、合同芋煮会などの親睦に、尽力して下さっている方々です。

会員の大半は巳年生まれの年男、在京五三会として三年半ぶりの会でしたので、次々とマイクを握って近況報告するなど、大変賑やかな会になりました。

2020年のオリンピックが東京開催に決まったばかりでしたので、そのオリ

ンピックを見るまで頑張ろうと、肩を叩きながらのお開きとなりました。

（中学53回会
赤城 良一 記）

平成26年度 会中五三会総会

四月十二日、市内料亭方花楼で会中五三会の総会を実施しました。

会中五三会は中学五十二

回と五十三回卒業生で組織する同級会で、今年度は十六名でスタートしました。

しかし、その直後の四月二十五日に、創立当時から会長を務めてくれた平出幸朗君が逝去され、残念ながら十五名となりました。

総会では、同窓会の学年幹事に浦野一郎君を選出し、五三会の平成二十六年度幹事は、柴田良雄君と赤城良一が務めることを決めました。

会中五三会は昭和二十五年夏、恩師の児玉巖先生が会津にお出になられた時、平出君など十名ほどの仲間が集まって、歓迎会を開催したのが始まりでした。

当初は無尽という形で行っていましたが、次第に会員も増え、親睦会として毎月十二日を例会日として、以来六十四年もの長い間続けてきました。

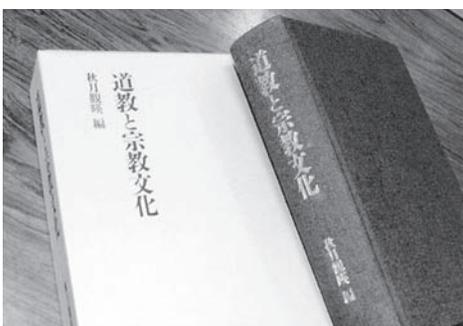
その後、関東地区に在京五三会が結成さ

れ、県内他地区に福島五三会が誕生し、合同の同級会も開催してきました。

この四月の総会には、さいたま市から滝口敦君、五月の例会には横浜市から小澤保治君が参加され、在京の情報などもあり、一段と話題が盛り上がりました。

写真は、四月総会の写真で、前列、左から岩橋猛、滝口敦、佐原大蔵、桑間恒雄、遠藤孝、赤城良一、後列、左から、小林栄二郎、柴田良雄、大越健、新保光昭、渡部欣一、浦野一郎、飯田耕治です。

（中学53卒
赤城 良一 記）



時習文庫の本②

会高甲申会 (会高2回)

【開催場所】

平成26年4月20日

【会場】

会津若松市 中ノ島

【出席人数】22名

今年度は24回目の総会

会員の高齢化により明年度を以って解散することに決定 (佐藤中一 記)

高校4回生の 同期会開催

高校四回生は同期会を喜寿の祝い、傘寿の集いに続けて今回も5月13・14日、会津芦の牧温泉丸峰観光ホテルに全国から34名が集い、同期会総会、親睦会を開催し再会を祝した。

高校四回生は昭和21年旧制会津中学校の最後の入学生(中学の入試があった)であった。学制が新しくなり、途中併設中学という名称もあり、卒業時は新制高校第四回生となったのである。大半が中学から高校ま

で6年間同じ校舎で学んだ最後の学年である。

今回の同期会は記念撮影から始まり、恩師酒井幸喜先生を含め、この2年間に亡くなった10人の物故者へ黙祷をささげ、代表あいさつ、会計報告、二、三の協議事項の後、二年後の再会を約し、引き続き親睦会に移り、各地から集まった仲間の近況報告に耳を傾け、余興や出し物を楽しみ、80歳を越した高四回生がこれからも元気で過ごすべく、再会を約して楽しんで二日間の集いが終了した。(文責 田澤正敏)



H26年度 会津高校 高四会 同期会 5月13日

於：会津芦の牧温泉 丸峰観光ホテル

会津高校合唱団ことはじめ。

吉田眞理^{まこと} (會中54回)

我々は昭和23年(終戦の三年あと)の卒業生であるが、この会津地方でも終戦翌年にはもう合唱コンクールが始まり、われわれ會中生は翌22年夏に写真中央の山本貞彰君(指揮、指導)を中心に賀川直信君、星和男君、私などが協力して当時の五年生(我々)と四年生で合唱部を組織して練習に入り、秋の会津小中学生コンクールに出場し、短時間の練習にかかわらずに2等賞に輝いたのである。コンクールは会女講堂で行われ、その入り口で記念写真を撮った、昭和22年11月3日の日付けの写真をみると左端の賀川君は幼年学校の服装に裸足で足駄がけ、ほかにも下駄履きが多い。柏木君などはまだ戦時中の戦鬨帽(制服)である。まだ食べ物も十分でなかった当時、そんなことではじまつた合唱団も紆余曲折をたずねながら、現在の全国合唱コンクールに連続金賞を重ねているのを聞くと感慨に絶えない。



昭22.11.3 会津小中学校コンクール「オ2位」

(会高5回)
傘寿記念
同期会

平成26年8月24日(日)、5
回卒業記念同期会を2
年ぶりに開催。在京者を
はじめ21名が参加し盛会
でした。前回(H24・4・
20)の卒業60年記念同期会
の時から、毎年開催を求め
られたが参加者の減が懸念
される等、困難な情勢が続
く中、80才を「終活の節
目」として決断したもので
す。今回は、卒業生277
名に対し約半数の137名
の方に案内状を送り、集計
では住所不明73、物故者82
(小計155)、近況回答者
数120名となった。改めて
物故者の方に心からお悔
み申し上げると共に、生存
者には一日も多く生き永ら
えてほしいと念じておりま
す。同期会は大堀恭裕君の
司会で進行、物故者へ黙
祷、発起人栗木治一郎あい
さつ、地元同期生近況のま
とめ(渡部四郎君)在京同
期会近況語り(五十嵐良一
君)の後、60年ぶり参加の

大桃洋一郎君の乾杯で宴が
始まった。その後、各人の
近況報告。一分間スピーチ
の中に何と味わい深い言葉
が沢山続いたことか。さす
がに年輪を長い間刻んでき
た結果の珠玉とも言える言
葉の数々。聞く者みんなが
うなずきながら、実感でき
た模様だ。東山芸妓の妙な
る美技でクライマックスを
迎えた。次に佐藤隆夫君の
リードで校歌・凱旋歌等を
斉唱し閉会となった後も、
二次会で深更まで語り合う
友が多かった。翻^{ひるがえ}って、
我々の来し方を省みると、
昭和16年4月、大東亜戦争
直前に国民学校入学、昭和
20年8月終戦、昭和22年3
月国民学校卒業、4月新制
中学校に進み、教科書、校
舎、教師の不足など、六三
制学校改革を経験し、会津
高には新制「初回」の入学
となる。大学も新制大学卒
第一号と称される等、幾多
の試練を経て今日を迎えた
が、よくぞ頑張ってきたも
のと思うのは小生のみでは
あるまい。

今回の傘寿同期会の実行



委員会代表を務めさせても
かけましたことを多く
らいました。実務は、渡
部四郎、大堀恭裕、古川明
の三氏に大変なご苦労をお
す。
(高5回 栗木治一郎 記)

「時習文庫」新収容書

(高3回) 渡部恒三著 (2冊)

① 「耳障りなことを言う勇氣」

② 「夢ひとすじ福島びと」―渡部恒三氏―

(高6回) 早川広中著 (6冊)

① 「現代貿易の知識」(共著)

② 「国際貿易の理論・政策・実務」(共著)

③ 「官僚政治から国民による政党政治へ」

④ 「真説・会津白虎隊」

⑤ 「新島八重と夫・襄」(同志社大学本井康博氏との
共著)

⑥ 「東大総長山川健次郎の目指すべき国家像と未来」
(東京大学木下健氏との共著)

(高13回) 佐藤紘一著

「会津情念点描(風見孝男戯曲集)」

(高25回) 岩澤信千代著

「不一・新島八重の残したものの」

(高4回) 笹川壽夫編著 (12冊)

① 「会津の文化―会津の文人を追い求めて」

② 「わかりやすい会津の歴史(幕末・現代編)」

③ 「ふくしまの文化財(会津編)」

④ 「新版会津の峠(上・下巻)」

⑤ 「会津の寺(会津若松市・北会津村)」

⑥ 「会津の寺(耶麻・河沼・大沼・南会津)」

⑦ 「会津のお寺さん(御詠歌収録)」

⑧ 「会津の神社(歴春ブックレット)」

⑨ 「ふくしまの地名を拾う」

⑩ 「会津やきもの紀行」

⑪ 「新島八重(スペンサー銃からバイブルへ)」

⑫ 「新島八重(スペンサー銃からバイブルへ)」

(高6回)
「在京六甲会
新年会」

若い頃は八十才と聞くと、途方もなく遙か彼方の年令で大変な年寄りと思っておりました。ところが、六甲会の一九三五年（昭和10年）生れは、今年数え年で八十才で「傘寿」の年となりました。そして門田の校舎を巣立つてから「60年」であります。

平成26年2月2日、12時、幹事・笠間亮君の司会で、笠間君が準備したDVD「NHKBS歴史館・新島八重」が大型スクリーンに投影された。幕末のジャクソンヌ・ダルク、ハンサム・ウーマンの生き方と生涯。京都府顧問の兄寛馬の「管見録」〜三権分立の記述などをじっくりと見つけました。「歴史は常に勝者の立場の歴史である」と言われていますが、このDVDは「敗者とされた側からの歴史」で、勝者に一矢を報いた番組であったと思えました。1時10分、笠間君が「新

年会」の開会を告げてから、物故者の霊に黙祷をした。

大竹隆輔代表幹事が挨拶をし、星洋一君が土井晩翠が荒廃した鶴ヶ城を目にして名作「荒城の月」を作詞したことはいきさつと、鶴ヶ城に詩碑がたてられた経過について解説してから「乾杯」。何故か乾杯のビールが喉を通過した途端、若き日のクラスメートの顔に戻っているのが何とも不思議であります。岸喜志雄君が、今回も歌集（永久に残る心の歌）を作り配布し、アトラクションとしてハーマニカを演奏した。岸君の伴奏で、叶沢貞夫君が「北国の春」を気分よく歌った。林健一君が謡曲「道成寺」の語りを披露した。幹事異動が報告された。退任挨拶で叶沢君は「事情があり、どうしても・・・」。佐久間良平君が新任され、「記録・写真などで協力します・・・」。笠間司会の指名でスピーチをした方。渡部幸世君は「ワタナベと言う人がおりますが、ワタナベが正しい・・・」と言って

いると笠間君が囁いてくれた。何しろ写真撮影でロクに聞いていなかったのだ。山室重隆君は、明治11年、イザベラ・バードが辿った道について話し、自分もその道を歩いていることを話した。野崎邦彦君は、全員に配布した「会津戊辰戦争を考える」を示しながら説

明し、その後配布した「替え歌お座敷小唄の曲で歌えます」で「ボケない小唄」「ボケます小唄」を皆に歌わせました。高木勝勇君は、スピーチの後で、コラム「凡語録」の最新版を発行したことを述べた。以上の方以外に、スピーチをされた方がおりましたら、失念致しお詫び致します。



- | | |
|-------|-------|
| 鈴木浩一 | 佐久間良平 |
| 小島定栄 | 叶沢貞夫 |
| 徳永慶二 | |
| 向島 遼 | 井関利明 |
| 福地 裕 | |
| 八尾 徹 | 田崎幸哉 |
| 倉戸照夫 | |
| 高瀬秀一 | |
| 裏部健雄 | 渡部幸世 |
| 鈴木博郎 | |
| 北見得造 | 古川 恒 |
| 笠間 亮 | |
| 山中廣志 | 星 靖男 |
| 岸喜志雄 | |
| 大竹隆輔 | |
| 渡井正大 | 星 洋一 |
| 平田和子 | |
| 五ノ井國男 | 川崎 彰 |
| 岩上亘雄 | |
| 真桑栄次 | |
| 藤村 晃 | |
| 野崎邦俊 | 芳賀昭至 |
| 村山伊登子 | |
| 山室重隆 | |
| 薄 恒彦 | |
| 長谷川嘉男 | |
| 高木勝勇 | |
| 林 健一 | |

2014年（平成26年） 在京六甲会 傘寿の年 新年会

時習文庫の本③



会の最後に、唱歌「ふるさと」を渡部幸世君の指揮、岸君のハーモニカの伴奏で全員で歌った。指揮をした渡部君は芸大出身であり、その手捌きは流石にプロの動きであったと思います。3時30分、笠間司会の中締め手拍子で、傘寿の年の新年会が無事終了しました。（佐久間良平 記）

通信教育会

【開催場所】

平成26年4月27日

【会場】

東山温泉 千代滝

【出席人数】

23名

平成26年4月27日東山・千代滝で2年ごとに開催され、活動報告 会計報告などが行われ23名で働きながら学んだ当時（昭和33〜41年）頃の思い出に花を咲かせた。

（小湊 記）

新役員 会長

小湊 好廣

副会長

山内 昭

” 永戸 正昭

庶務

坂内 久男

遠藤 永子

会計

田中 愷一

監査

佐伽羅 洋子

古川 久英

古川 久英



平成26年度

（高7回）

【開催場所】

平成25年10月5日

【会場】



平成25年度 会高七朋会 総会 平成25年10月5日 於会津若松ワシントンホテル

前列左から

渡部 文夫
長谷川 慶一郎
新国 一

野崎 邦俊

冠木 一彦

田村 正雄

中川 廣之

山崎 守

後列左から

芳賀 恒郎

福田 隆之

芦沢 健

菅井 隆次

田村 昭夫

森田 慶一

横山 秀夫

会津ワシントンホテル 総会に入る。平成27年度は傘寿の祝いを是非開催して欲しい、との強い要望もありどの様な方法で実施するかは役員会でまとめ、平成26年度総会に提案することとした。（渡部文夫 記）

(高8回)
『喜寿の同期会』

高8回生は平成25年9月8日「喜寿の同期会」を東山温泉東鳳にて開催しました。参加者は24名でした。貝沼幹事が開会を宣言、



生と恩師の霊に黙祷を捧げ、吉田幹事代表の挨拶、星幹事の指揮で校歌斉唱、平山君の祝辞、千葉幹事による学校や同窓会の近況報告の後、坂内君の乾杯音頭で宴が始まりました。会津の美酒・食味に酔う中、東山芸妓さんたちによる祝舞に見惚れ、7才一人ひとりのミニスピーチに人生の奥深さを感じながら、宴は延々と2次会までも。翌朝はさわやかに「次回を」は傘寿を」と再会を期して肩をたたき合う面々でした。

(千葉宏 記)

(高12回)
三五会IN箱根
仙石原報告

今春の三五会IN箱根は3月5日に50名が参加して、22年前に手代木健先生をお



招きした「フォレスト箱根」で行なった。今回は「天下の剣の箱根に招く」というコンセプトで、空気が澄んで花粉が飛ばない3月に実施した。遠来者は長野の谷澤君、岩手の三上君と工藤さん、福島の武藤君、原田君と猪股さん天野さん、会津の武藤駿君、佐藤君、金子君、林さん山内さん和田さん千葉さんの14名。旅の初日の芦ノ湖海賊船の遊覧は雨だったが、翌日は快晴で、富士山と芦ノ湖の世界に誇るパノラマの眺望を堪能できた。宿での講演会では部実君の「原発への提言」黒岩君の「甲子園への運命の細い糸」金子君の「会津歴史」の講話があり、心豊かな今後の生き方の刺激になり、また美声を競い、談笑し、夜遅くまで箱根の夜の再会を楽しんだ。

(高12回 伊藤俊郎 記)
(在京三五会代表)

あなたといっしょ、いい未来

会津信用金庫

理事長 星 幹夫

(本店)会津若松市馬場町2番16号
☎ 0242(22)7551
HomePage <http://www.aizu-shinkin.jp/>

会津のよさは酒の良さ

荒城の月

山麿特別純米酒『荒城の月』(720ml)

品質本位

花春

URL <http://www.hamaharu.co.jp>

(会高15回) 古希祝の集い

平成25年11月24日、会高十五回卒の古希を祝う集いを開催した。参加者は、在京組22名、会津地区24名、



会津高校高15回卒古希祝い 平成25年11月24日 於 瀧の湯

総勢46人で東山温泉「庄助の宿 瀧の湯」に午後からそれぞれ参集、十六時から同級生の神職によるお祓いを受け、七十歳を迎えることが出来たことを感謝した。

その後記念写真を撮影、

物故者への黙祷からはじまり、代表世話人の挨拶、乾杯とつづき、東山芸妓による祝舞も入り、大いに盛り上がり、話は尽きず楽しく愉快なひと時であった。次は喜寿、傘寿、米寿までもと、お互いに健康で再会できる事を約束し散会した。その後も飲み足りないのか、話が尽きないのか二次会、三次会(?)と夜中まで頑張っていた強者もいた様子。

翌日には、在京組を主に母校の表敬訪問、校長先生の案内で男女共学と様変わりした校内見学、最近の状況等説明を受けた。懐かしい学び舎といっても、我々のいた校舎等は、実に卒業の年に火災によりほとんど消失、わずかに玄関前の庭等に面影を見いだした。いずれにしても懐かしい訪問であった。

(上野隆 記)

会高16会 (会津高校16回) 古希を祝う会



会高一六会 古希を祝う会 平成26年4月27日 於 御宿東鳳

平成26年4月27日、東山温泉 御宿東鳳、参加者60名にて恩師畑敬之助先生の御出席を頂き、盛大な祝いの会と成りました。

会津高校(50年ぶりの)見学ならびに、学校の現況報告から始まり、蚕養神社でお祓い、武家屋敷見学・畑敬之助先生講演「幕末における会津藩と中央政局」⇓東山温泉の御宿東鳳にて記念写真撮影、天空風呂(露天風呂)入湯、祝宴(東山芸妓5名)⇓・二次会翌朝 院内の御廟を散策し、再会を約して散会しました。

(報告 川崎浩通 記)

なお、ブログを公開しておりますので、ご覧下さい。
会高一六回ブログ
<https://app.f.cocolog-nifty.com/v/app>
アカウント aiduhs16kai
パスワード 196416
♣️会員以外の運用禁止 アカウントおよびパスワードの管理には注意♣️♣️

会高17回

【開催時期】

平成二十六年正月三日

【会場】

米田 澁川問屋

【出席人数】 20名

毎月三日の無尽会（会員16名）が核となって継続。随時参加歓迎！

（米田 基修 記）

連絡先

米田 090-5183-5259



高28回会高、会女合同同期会



平成25年11月30日（土）

18・30より東山温泉ホテル玉屋で会津高校会津女子高校の高校28回卒合同同期会開催しました。会女35名、会高35名の計70名。第一回は平成20年11月23日今回で二回目です。

第三回は、5年後の平成30年我々が還暦の年に行います。

（学年連絡幹部

安部井省治 記）

時習文庫の本④



人と人のまん中にエイセン
日本名水百選
磐梯の名水仕込

東北に酒あり

登録商標
艾 盡きぬ
洗れよ
菊 薫る
艾 無比

エイセン
榮川酒造株式会社
耶麻郡磐梯町大字更科字中曾根平6841-11
☎0242 (73) 2300 FAX0242 (73) 2586
<http://www.eisen.jp>
お酒は20歳になってから。 お酒はおいしく適量を。

還暦記念感謝のつどい (高24回)

還暦のつどい A幹事3人組

荒井一貴 天井正人 穴澤耕二

「ひとは親(担当教師)と古里を撰ぶことはできない。それを運命的な縁という。」いつも我々の成長をあたたく見守ってくださった母校と恩師に感謝するイベントを織り込み、会高第24回生の『還暦記念感謝のつどい』を平成25年9月23日(祝日・秋分の日)に50名の参加者を得て盛会裡に開催しました。

第一部は母校の会津高校、第二部は会津若松ワシントンホテルでした。会津高校では講堂西側の一角に抛する「やすらぎの碑」へ物故恩師と物故同級生そして物故同窓会員に対して1人1人が白いカーネーションを献花しました。その後、懐かしい教室に入り、60の手習いではありませんが、30分間のミニ授業を行いました。演題は「還暦の君たちに期待すること、いつやるのか?今でしょ!」のもと特別講師に恩師のひとり、40年余も前に日本史を担当し、ポト部の顧問としても大活躍しておられた御年76才でご健在の中島寿雄先生でした。生徒の我々は小さな机と椅子に着席し興奮しながらも、昔ではあり得なかつた質問の連続で中島先生がタジタジ(?)の場面も見受けられ想い出深いミニ授業となりました。授業終了後には還暦記念の第24回生の名入り赤スリッパ50足を母校にそつと寄付してきました。



写真撮影 25.10.7 (さ)

約1時間の母校滞在後は、会場を会津若松ワシントンホテル3Fに移して、辰・巳・午の守り神である東山慶山の愛宕神社宮司による厄払い式を神殿でござそかに行いました。もちろん、恩師3名を囲んでの還暦を迎えた微笑の記念撮影を美しく行いました。

還暦祝賀の宴では、恩師3名への感謝の記念品と花束を贈呈。東山温泉芸妓を代表して紀千代さんと真衣さんに登壇していただき祝舞「蓬萊(ほうらい)」「君が代、松竹・梅」を鑑賞、最高齢恩師の鈴木昭彦先生の音頭で乾杯しました。フィナーレ前には「1万円キャッシュユバツク争奪戦!」と称して恩師の岸正夫先生とジャンケン勝負をしてささやかにギャンブルに興じました。

最後は応援団長の指揮により、校歌、学而会歌、凱旋歌を合唱、ドスのきいた見事な会高エールで一応お開きとなりました。が、それに満足しない還暦ボケ多数(ほぼ全員)が2次会3次会へと神明通りの歓楽街に出向き、楽しい1日となりました。会津祭りの白虎行列を観に来られた人たちが皆んな我々の還暦を祝ってくれているような気がしたのは私だけでしょうか?



第三回七七喜会
同期会 (高29回)

平成二五年十一月二三日
に東山グランドホテルで会
津高校二九回卒業生同期会
が行われた。会の始めに鬼
籍に入られた佐藤仁先生、
前回の開催からの五年間に
亡くなった同級生に対し黙
祷を捧げ、会が始まった。

恩師の佐竹先生、佐藤隆
夫先生、長沼先生のご出席
を頂き、我々からは四七名
の出席で盛大に行われた。

薙刀の顧問を務めたさつ
かけからご自身も薙刀を始
められた佐竹先生。剣道の
名士でありながら体を壊さ
れて自らの竹刀を置かれた
長沼先生。五五歳を迎えた
我々に、Make haste, Less
speed! 「急がば回れ」との
言葉を下さった佐藤先生。
学生と先生という高校時代
の関係性から時を経て、先
生に近づけたかなと思いき
や、先生方はさらにその先
を歩んでおられる。この関
係性は一生続くものと思っ
た。



会津高校29回卒 77喜会第3回総会 平成25年11月23日 於 東山グランドホテル

今回の同期会は「今回の同期会は前回の開催から五年の時を経ており、前回の住所にはがきを送つても宛先不明で返送されてくるものが多数あった。会津若松から離れて仕事をしている人が多く、転勤などが多い年代であり当然とも言える。年賀状のやり取りをしている同級生の住所を全て提供してもらわなければ今後も減少するだろうと危惧している。」と答えた。後日、自分のことを知らないといったことをM君が怒っていたと、S君から聞かされて私の頭の中の正常な回路が働き出し出した。なんとM君は私の小学、中学、高校と同じ学校の同級生で高校三年の時も同じクラスだった。今回は是非とも出席して欲しいとの思いで言葉を添えて出欠のはがきを送った。今回の同期会では無事、M君にも会えて胸のつかえを解消できた。三七年ぶりの再会でM君はさらに身長が伸びて風貌も私の記憶と異なり、街中ですれ違つても気付かなかつただろう。

今回の同期会にはある思いがあった。前回の同期会でS君から、M君を知っているかと聞かれたが、私の頭の中では私の知らなかつたS君の友達だから、私の知らない人だという単純な回路が働いて「知らない」と答えた。後日、自分のことを知らないといったことをM君が怒っていたと、S君から聞かされて私の頭の中の正常な回路が働き出し出した。なんとM君は私の小学、中学、高校と同じ学校の同級生で高校三年の時も同じクラスだった。今回は是非とも出席して欲しいとの思いで言葉を添えて出欠のはがきを送った。今回の同期会では無事、M君にも会えて胸のつかえを解消できた。三七年ぶりの再会でM君はさらに身長が伸びて風貌も私の記憶と異なり、街中ですれ違つても気付かなかつただろう。

高校時代、勉強しなければというプレッシャーの中でライバルとして過ごした同級生。今では立派なおっさんである。学生時代みたいに女の子に目が行くわけでもないし、親友との「恋ばな」に花を咲かせるわけでもない。でもこの年になつての同期会って何でこんなに楽しいのだろう。はがきを送る役目を果たした達成感もあるのだろうか



宿の浴衣のよれるのもへっちゃら。ツワアモノラツワモノラ。

(新井田有耕 記)

猪苗代支部総会

猪苗代支部は六つの地区に分かれ、猪苗代地区73人、千里地区38人、翁島地区18人、月輪地区21人、長瀬地区25人、吾妻地区15人、計190人の会員で組織し、毎年秋に総会、講演会、懇親会を行っている。会場の設定は6地区持ち回りで受け持ち、今年は猪苗代地区が当番であった。

25年度の支部総会は例年通り11月23日に磐梯山麓の猪苗代観光ホテルで、来賓として学校より鷲山秀俊氏、東海林信一郎同窓会副会長をお迎えし、28名の出席で開かれた。

毎年傘寿を迎えられた会員に記念品を贈呈しているが今年度は高4回卒の星健夫、齋藤登、高5回卒の更科治の3氏へ贈呈された。

講演会は「伊勢神宮の式年遷宮」と題して町内諏訪神社ほか五社の宮司を務める長尾景景支部長（高15回卒）が講演を行った。初め

に御遷宮の記録DVDを鑑賞の後、レジュメをもとに伊勢神宮について概要の説明があった。正式な名称は「神宮」であり、内宮、外宮他別宮、摂社末社等総計百二十五社の総称を指し、内宮は皇大神宮で天照大神、外宮は衣食住を司る豊受大神が祀られ、二御正宮が神宮の中心であることが話された。続いて式年遷宮について今年度は第62回式年遷宮の最大の祭儀である内宮と外宮の遷御、つまり神様が新しい御社殿に遷られる儀式で、内宮が去る十月二日、外宮が十月五日に行われた。歴史的には千三百年もの古から連続しているのだが、途中、應仁の乱の時代に百二十年余中断の時期があったといえ、二十一年に一度ずつ御社殿の建て替えや御神宝や御装束作り替えを行ってきたというところは驚嘆に値することである。またそのための準備、諸祭儀用材の確保、社殿建て替えや御神宝、御装束の新調等に関わる職人工人の確保等関係者の

並々ならぬご苦労が窺われる。これら遷宮の総経費が五百五十億円も掛かり、戦前は神社が国家管理であったため国費で賄っていたが、昭和28年の第五十九回御遷宮からすべて全国の崇敬者の奉賛金で賄うことになった。御遷宮の平成25年は全国津々浦々から訪れた参拝者が一年間で空前の一千万人を超した。そう、これから当分伊勢参宮は衰えることはなさそうである。神社は全国何処の地区や集落に行っても鎮座され

ているため身近な存在であり、伊勢神宮が総本宮的存在であることは承知しているつもりだが、今回の講演を聞いて改めて認識を深めた次第である。

副支部長
（高17回 八子宗平 記）



平成25年度 会津高校同窓会猪苗代支部総会 於 グランドサンピア猪苗代リゾートホテル 平成25年11月23日



会津武家屋敷年間パスポート

一年間何回でも入館できるお得なパスポート。一枚1,000円にて発売中。

心の美術館「青龍」

日展総理大臣賞受賞・室井東志生画伯が会津を代表する仏像を描きました。

会津武家屋敷菊まつり

家老屋敷を可憐な菊が彩る。平成26年10月10日(金)～11月24日(月)「激動の会津・長谷川憲一画でたどる会津の幕末」特別展開催中

会津武家屋敷

〒965-0813 福島県会津若松市東山温泉入口
TEL 0242-28-2525 (代) FAX 0242-28-2515
URL <http://www.bukeyashiki.com>

会津高校同窓会猪苗代支部



遷御の一風景 (DVDによる)

会津坂下支部総会

【開催時期】

平成25年7月27日(土)

【会 場】 江戸鮎

【出席人数】 21人

(会員16人 来賓5人)

新城猪之吉氏(本部同窓会長) 外御臨席の中総会が開催された。記念講演として早川廣中先生の「明治維新」を予定していたが、磐越西線が大雨のため不通となり郡山から先生が来られず中止となった。

急ぎよピンチヒッターとして、高校9回卒の桑原勇蔵氏に秋月悌次郎の北越潜行について話して頂いた。

【開催時期】

平成26年7月19日(土)

【会 場】 江戸鮎

【出席人数】 25人

(会員16人 来賓3人)

二六年度会津坂下支部の同窓会は去る七月十九日(土)、会津坂下町仲町「江戸鮎」にて開催しました。

都合により本部同窓会と

学校からの三役の出席が得られず、チョッピリ淋しい開会となりましたが、地元出身の増井邦良副幹事長と、学校を代表し、鷲山秀俊先生にご挨拶を頂きました。

恒例の定例総会であり、出席者も総勢二十五名余りと少ない人数でしたが、若松二校の、若商(二瓶孝也氏)と会工(五十嵐一夫氏)のそれぞれ坂下支部長さんのご出席を頂き、少数精鋭の総会となりました。

昨年は予定しました早川廣中先生の記念公演が豪雨の為出席が得られず中止となり、大変残念な思いをしました。が、しかし今年度は天候に恵まれ、希望の同先生によるご講演が、「明治維新と教育問題」と題して一時間を越えて行われました。有意義なお話で今後のことも併せ考えさせられました。

記念講演は当支部総会の大きなイベントであり、毎年楽しみにしておりますが、今年は昨年のNHK大河ドラマ『八重の桜』の延

長線上あることとて早川先生も一四頁に及ぶ資料を準備してこられました。会津藩士の動向と明治維新の教育改革について、先生は熱弁をふるわれました。

終了後の懇親会も先生を囲み、さらに盛り上がり、時の経過も忘れ、会津の美酒に陶醉した夏の宵となりました。

(支部長 永戸正昭 記)

柳津支部総会

【開催時期】

平成25年7月11日(木)

【会 場】

寺家町 内田屋旅館

【出席人数】 11人

新たに柳津町副町長に任命された星正敏氏(高37回卒・金山町出身)の歓迎会と教育長に任命された目黒健一郎氏(高24回卒)の就任祝賀会を兼ね、支部長宅である内田屋旅館で支部総会が開催されました。

星副町長が会津高校一年の担任の小川茂正氏(旧職員・柳津町)を囲み、会員相互の親睦を深め、有意義なひと時を過ごしました。(高33回 金子佳弘 記)



湯川支部総会

昨年12月7日(土)午後4時より、喜多方市塩川町『花正楽』にて第3回湯川支部総会が開催されました。

例年のごとく物故会員への黙とうに始まり旧制会津中学校歌、会津高校校歌の斉唱へと続きます。決算、予算とも無事承認され、今回の総会では、2

回目役員改選が行われました。

高橋支部長他人選は基本的に変わらないものの、今回新たに白岩孝一副支部長を選任しました。

総会後の懇親会では、昨年入学した高校生を初めて宴会の席に同席させました。

初の試みとなる、現役の高校生との接点は評判もよく、最後まで残っていた生徒もおり、湯川支部の新しい息吹きを感じさせるものとなりました。

最後はいつもの『凱旋歌』です。指揮はいつもの応援団OBの遠藤、神田、坂内氏の面々。これなくして支部総会は語れません。

さらに2次会(喜多方市塩川町『カトリック』)までひととき盛り上がりを見せたことは言うまでもありません。

(幹事長 高29回 菅沼弘志 記)



塩川支部総会

25年度の塩川支部総会は、11月2日喜多方市塩川町の「絆旬」を会場として行われました。

来賓として同窓会から戸川稔朗副会長及び太田伸幹



事長、学校から箱崎二三彦校長、隣接の湯川支部から高橋新支部長をお迎えし、支部会員29名の出席のもと開催されました。

また、今回の総会には、地元塩川出身の小熊慎司衆議院議員、並びに菅家一郎衆議院議員にもご出席いただきました。

原案通り承認または決定されました。

次に、役員改選が行われ、支部長に須田敬氏（高12）、副支部長に山田善一氏（高16）及び渡部孝雄氏（高21）のほか、幹事及び監事などの全役員が再任されました。

物故会員への黙祷のあと、会津中学及び会津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、戸川副会長、箱崎校長並びに高橋湯川支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、24年度事業報告及び決算報告、25年度事業計画及び予算が

原案通り承認または決定されました。

次に、役員改選が行われ、支部長に須田敬氏（高12）、副支部長に山田善一氏（高16）及び渡部孝雄氏（高21）のほか、幹事及び監事などの全役員が再任されました。

総会終了後、本年度に入學した新入生8名に対して、支部長から祝福と激励を兼ねて記念品（図書券）の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していたいただきました。それぞれの目標に向かって、今後の活躍に期待を寄せるものです。

続いて、参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われ、和気あいあいの中で相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

毎年1回の交流の場ですが、若い同窓生の参加に努めながら交流の輪を更に広げたいと思っています。

塩川支部幹事長
（高18回野口富士夫 記）

下郷支部総会

平成25年度の下郷支部定期総会は、11月23日(出割

烹「鯉川」で、同窓会本部から太田伸幹事長を、事務局から千葉宏先生をお迎えし、支部会員14名の出席のもと開催されました。

物故者への黙祷の後、河合政弘下郷支部長が挨拶し、太田伸幹事長、千葉宏



先生よりお祝いの言葉をいただきました。

議事においては、提出された事業報告・決算報告・予算案・事業計画案など承認されました。

事業報告では、「会長杯」ゴルフ・将棋大会への参加状況や現役生激励会（写真上）で図書カードを贈った様子など事務局よりありました。

また、規約の一部を改正し、会計年度を本部と同じ

にすること、会員の死亡に弔電を送ることにしました。さらに、3年毎に行っていた現役生激励会を入学の祝福と激励を兼ねて毎年行うことにしました。

続いて出席者全員による記念撮影の後、懇親会が盛大に行われ、最後に会津中学校・会津高校の校歌を斉唱し閉会しました。

（支部事務局長
高22回湯田嘉朗 記）



人・事。あらかると ①

学而記念館と時習文庫

一九九〇年（平成2年）十月母校・会津高校は創立百周年を祝った。25年前のことである。創立80年記念で『学而ホール』を建て、90周年記念に『やすらぎの碑』の建立。そして百年。学而ホールの会議室に西接する形で創立百年の節目を意義あらしむるべく、『学而記念館』と銘打って校史に纏わる史料・資料、あるいは同窓生著作等の『保存』や『展示』に尽す平屋の記念建築物が誕生した。

中から学而ホール側の会議室兼食堂へは鍵を開けて入られるが、学而ホール会議室兼食堂からは学而記念館展示ルームには入れられない方式にしてある。要するに現役生徒は合宿や部活動のために学而ホールを使い、同窓生は会議等のために学而ホールを使う方式で、相互に有用な物になって、20年余が過ぎた。

同窓生の精神活動の結果は、著作になり絵画になり書跡になり録音テープやCD等に収録されてきた。しかし、同窓生一般に、その存在について、収容の基準を明示して広報することもなく現在に至っている。また『書籍の形をしている物の始末だから、学校図書館の司書が受け入れ、記帳などを行うのは当然』というようなあしらいも時に見られた。卒業生・同窓生の著作物だから、同窓会として処理すべき物であるとすると、同窓会から係が出るべきだ。…としたら、同窓会の事務か。以下私見。

しかし管理者である校長（奥）の立場からは、部外者（管理下にある建物に入ってくる者）が入って見学する時の、小さくても様々な協定事項等を協議しておくべきであろう。

その第①は同窓会として委員または雇員を置き、彼が開錠・施錠を完璧に行う必要あり。建築当初から火を使う合宿所と接していて、火防上の心配が大きい。今後も

お互いにきびしく火の管理をすべきだ。

第②は選書等の基準を明文化しておき、受け入れた著作物等に、受け入れた年月日と、寄贈者名を正確に銘記すべきである。

第③には今までの受け入れ物は、もちろん、今後受け入れる物も、それらの一覧が出来るようにリスト・アップして行くべきである。

第④には、この学而記念館に収容された物は館外持出禁止・（禁帯出）にすべきである。記念物として残された物であり、未来永劫に保存されるべき物と考える。貸出して、（持ち出して）紛失したり私物化されて、秘匿されたりしてはならない。

第⑤には寄贈されてくる物が増えてくるにつれ、収容場所が不足してくる。その場合でも寄贈を拒否したりしてはなるまい。喜色満面にして、感謝の心を大いに表現して、受け入れて行くべきだろう。狭くなって、もう受け入れを拒否するしかないという考えは、浅慮にして怠慢のそしりを受けよう。たとえ、自分、平積みにしてでも受け入れよう。その頃になれば、また、同窓会幹部に、知恵をしぼってもらいたいのである。

第⑥には、寄贈物は、展示室内部で開読して頂きたいものだ。いずれ、同窓会として雇員をもつて訪問者の要望に応えるには、コピー機の購入、その他の対策も考えなくてはなるまい。

第⑦には、卒業生の著作物が次第に豊富に揃えば、それは、全体として総合してきても見事なる一大アンソロジー（Anthology）（詞華集）となるだろう。全国的に二、三の実例を凌いで日本一になるかも知れない。

第⑧には、過去の著者（同窓生）たちの大冊を見ても小冊を見ても、著者としての熱意をありありと感じるし、その情熱が後輩生徒たちにひびいて行って欲しい。そこで、総合学習の時間等には、現物を見せて、向上心を刺

激して頂きたいものだ。

第⑨には、この学而記念館に収容された著作物等について広報を定期的に行うことも必要であろう。自著作物を収容してくれる母校があることは著者たち本人のみならず、先輩にとつても後輩にとつても穏やかな喜びになる。そこで、今号（第44号同窓会報）から、少しずつ新収容、旧収容の著作等を紹介していくことにする。

第⑩には、同窓生の著作物の価値の高さを論評するものが現れたら、関連本として収容して行ってもよいと考える。近年では小室直樹氏（高3回）の論文や著作に関して鋭く賞揚している数冊がある。

第⑪には、著者も死去し、版元にも既になく容易に入手できなくなっていたら、場合によっては古書店相場を探索してでも入手しておく必要だつて出てくる。探して買い取つておくことも必要になるろう。

第⑫には、その場合には恐らく本部予算の一部を購入費用に支出することになるろう。そういう費用も同窓会活動費の内と考えていきたい。

第⑬には、収容した文物について、御礼状は、学校長名と同窓会長名の併記で発するのが筋ではあるまいか。諸兄の考えを聞かせて欲しい。

第⑭には、「学而時習之」の論語から、現役生徒の「学校図書館」を時に「**学而文庫**」と呼称することをしばしば聞き及んでおられよう。

「学而記念館」は正式名称だが、卒業生著作集を収容する所として手短かに、「時に習う」から「**時習文庫**」と称して行きたいと、かねがね思うところを、この平成26年の去る8月2日（土）の同窓会幹事会に諮ったところ承認を頂いた。今後は、「**学而文庫**」は後輩・現役生徒の学ぶ所、「**時習文庫**」は先輩卒業生の学びの場と心得て行きたい。

（同窓会報委員長 佐藤隆夫（高5回））

第45回川島杯ゴルフ大会 ボナリ高原ゴルフクラブにて

在京会津高校同窓会「川島杯ゴルフ大会」は、春と秋の年二回開催しており今回で45回目を迎えました。

基本的には春は新千葉カントリークラブ、秋は日本カントリークラブと亡くなられた前川島会長が理事長を務められていたゴルフ場で開催していましたが、平成18年春の第30回大会を記念大会として初めて地元ボナリ高原で実施したこともあり、今回も45回開催という記念大会という位置づけから、平成25年10月2日同会場での開催となりました。

在京同窓会の参加者は4名のみでしたが、地元同窓会から東海林副会長、竹田副会長、太田幹事長はじめ9名の参加をいただき合計13名でのプレーになりました。

在京会員参加組は、前回同様に前日は沼尻温泉の「磐梯沼尻高原ロッジ」(女性登山家田部井淳子氏がオーナー)に宿泊し一泊のゴルフツアーになりました。

当日は日本列島に近づきつつある台風の影響もあり小雨のぱらつくあいにくの天候でしたがトリッキーなコース、景観を十分に堪能しました。

大会成績は、

優勝	竹田 政弘 (高24回)	G 99	H C 25.2	N 73.8
準優勝	太田 伸 (高21回)	G 88	H C 12	N 76
3位	坂内 孝成 (高8回)	G 93	H C 16.8	N 76.2

ただ前回開催時には川島前会長をはじめ合計40名10組でのプレーだったことを思うと在京会津同窓会の会員減少、高齢化を深く憂うる今日この頃です。

(高29回 天野康弘 記)



川島杯ゴルフ大会 母成ゴルフ場 2013.10.2

すべてを地域のために

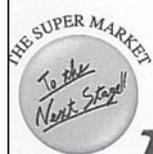


東邦銀行

取締役頭取 北村 清士 (高18回)

〒960-8633

福島市大町 3-25 TEL 024-523-3131



私たちは新鮮でおいしい商品をお届けしお客様がより安心して、楽しくお買物ができるお店づくりを目指してまいります。

Lion D'or

CREATE THE FUTURE

リオン・ドール



株式会社 リオン・ドール コーポレーション

〒965-0878 福島県会津若松市中町 4-36

TEL (0242) 26-2111

福島県立四倉高校長

26・4・1

一般財団法人・会津若松観光ビューロー理事長

長田公雄 (高29回)

26・4・1

滋賀県警察本部長

26・8・26

会津若松市消防団長

笠間伸一 (高26回)

26・4・1

会津若松医師会会長 (5期目)

26・1・1

岩淵仁一 (高17回)
福島県教職員組合・中央執行委員長 26・4・1

加藤道義 (高15回)

会津美術協会会長 (2期目)

24・4・1

角田政志 (高29回)
国立大学法人・電気通信大学・特任講師 (いすゞ自動車)OB伊藤俊郎と日本ユニシスOB堀内匡の2人・共に高12回)平成19年4月以後から続く

小堀 貞 (高6回)

国際協力機構 (JICA) 青年海外協力隊・美術指導員

24・9・26

梅宮正之 (高26回)
会津教育事務所長

小川晃世 (高50回)

東邦銀行頭取 (統投)

北村清士 (高18回)

福島県公安委員

26・7・16

丹藤 茂 (高28回)
福島県立会津学鳳中学・高等学校長 26・4・1

満田盛護 (高30回)

(3年間)

福島県農林部・農業振興課長 26・4・1

佐藤清丸 (高29回)

福島県土木部次長

26・4・1

山内正之 (高29回)
南会津・荒海中学校長

室井良文 (高29回)

会津坂下・湯川共立の「人・川・道の駅」所長

26・4・1

古川一博 (高31回)
会津美里・本郷中学校長

神田武宣 (高32回)

南会津郡只見町教育委員長

26・1・5

角田行雄 (高19回)

小田切秀夫 (高25回)

26・4・1

矢澤良伸 (高27回)

会津地方消防本部次長

26・4・1

梁取正喜 (高26回)

会津若松市役所企画政策部長 26・4・1

斉藤 勝 (高26回)

会津若松市役所健康福祉部長 26・4・1

岩澤俊典 (高28回)

南会津警察署長

26・3・27

猪苗代・吾妻中学校長

町田寿章 (高29回)

田代新一 (高30回)

猪苗代・猪苗代小学校長

26・4・1

菊地康則 (高30回)

会津若松・鶴城小学校長

26・4・1

笠原悦夫 (高26回)

会津若松・門田小学校長

26・4・1

二瓶重和 (高26回)

会津若松・城南小学校長

26・4・1

堀 良和 (高29回)

会津若松・神指小学校長

26・4・1

兼子栄一 (高29回)

会津若松・永和小学校長

26・4・1

春日芳則 (高26回)

会津若松・湊小学校長

26・4・1

斉藤茂幸 (高26回)

会津若松・若松第六中学校長 26・4・1

中村幸裕 (高29回)

会津若松・若松第一中学校長 26・4・1

酒井 完 (高27回)

磐梯・磐梯中学校長

26・4・1

猪苗代・吾妻中学校長

26・4・1

渡部 裕 (高26回)

話題の著作 (書名・筆者・卒業回次)

『吾等は善き日本人たらん』 町田久次 (高19回)

『柳田国男の話ー(柳田国男の詩学への扉)ー』 室井光広 (高25回)

『会津の文化』 『福島県の文化財・会津編』 『会津の寺』 『会津の峠 (上下)』 『会津やきもの紀行』 『新島八重』 『わかりやすい会津の歴史』 『ふくしまの地名を拾う』 以上9点 笹川壽夫 (高4回)

『新加入』 同窓会名簿登載希望の方が去る8月2日(土)の同窓会幹事会で、会員として加入を承認されました。

栗林友吉さんが登壇されている。ご自身の息子さんが3人とお孫さん2人も会津高校を卒業し理化学系の大学修業を終えて今立派に御飯を食べられるようになったのは『全く会津高校で与えて頂いたお教育のおかげです。このご恩に何とか報いたいのです。』とおっしゃって一千万円の寄付を申し出て下さった。若い高校生うちに現代世界のトップを行くアメリカの大学を直に自分の眼で見てくる研修費用にと。

母校はこれを栗林基金と名付けて同窓会管理として、然るべき方途を決めてアメリカ研修を実施した。平成23年3月東日本大震災の直後ではあったが、男子6名、女子13名の応募があった。翌年3月には16名が、次の平成25年3月には、16名が、渡米した。引率先生が毎回一人ついてこの3回で生徒51名、教師3名、計54名が渡空研修を体験。帰国報告も輝く希望に満ちたものであった。

栗林基金が発端となって大きく海外研修が広がりました。が、悲しいかな、栗林さんは5月26日、不帰の人となられた。栗林さんのご厚志を十分に今後を生かして研修は続くでしょう。厚い厚いお志に深い感謝を捧げますとともに、ご冥福を祈ります。誠にありがとうございました。

平成26年8月会高同窓会

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

26・4・1

栗林友吉さんを悼む



同窓会報40号に栗林友吉さんが登場されている。ご自身の

息子さんが3人とお孫さん2人も会津高校を卒業し理化学系の大学修業を終えて今立派に御飯を食べられるようになったのは『全く会津高校で与えて頂いたお教育のおかげです。このご恩に何とか報いたいのです。』とおっしゃって一千万円の寄付を申し出て下さった。若い高校生うちに現代世界のトップを行くアメリカの大学を直に自分の眼で見てくる研修費用にと。母校はこれを栗林基金と名付けて同窓会管理として、然るべき方途を決めてアメリカ研修を実施した。平成23年3月東日本大震災の直後ではあったが、男子6名、女子13名の応募があった。翌年3月には16名が、次の平成25年3月には、16名が、渡米した。引率先生が毎回一人ついてこの3回で生徒51名、教師3名、計54名が渡空研修を体験。帰国報告も輝く希望に満ちたものであった。栗林基金が発端となって大きく海外研修が広がりました。が、悲しいかな、栗林さんは5月26日、不帰の人となられた。栗林さんのご厚志を十分に今後を生かして研修は続くでしょう。厚い厚いお志に深い感謝を捧げますとともに、ご冥福を祈ります。誠にありがとうございました。平成26年8月会高同窓会